National

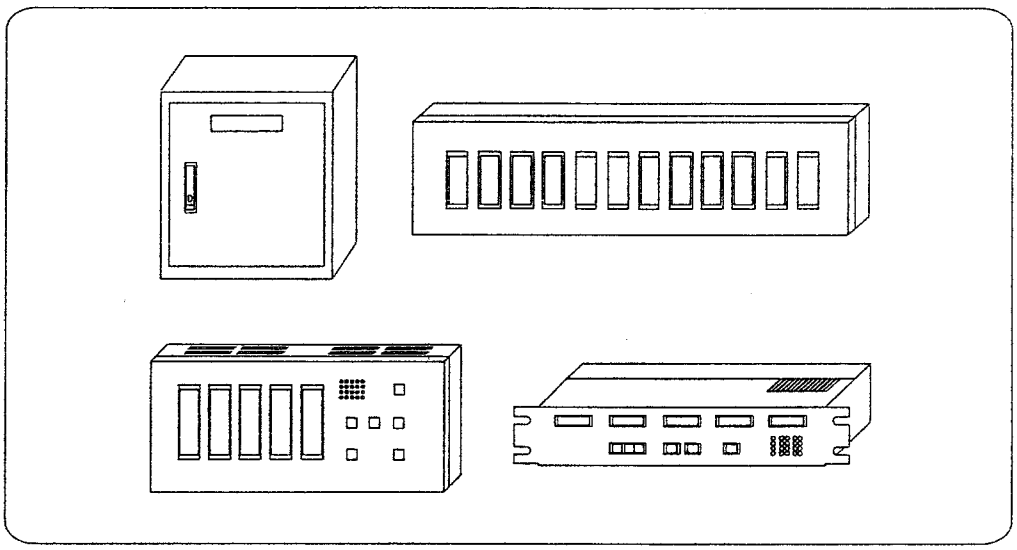
保管用

オフィスサインＬシリーズ　取扱説明書

・伝送ユニット組込制御盤（Ｌ型）使用するシステムをＬシリーズと呼びます。
・表示盤・表示器・操作器の設置場所によって、表示する人・表示する位置が自由に設定できます。
・〈トイレ緊急呼出表示システム〉は、〈出退表示システム〉との併用が可能です。

オフィスサインＬシリーズをご採用いただきありがとうございます。

※必読のお願い：商品を施工される前、およびご使用になる前にこの説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
※保管のお願い：お読みになった後は必ず保管していただき定期メンテナンス時にご使用ください。



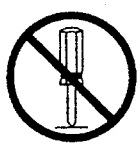
安全に正しくお使いいただくために

このシステムを正しくお使いいただくためや、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、次の内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の意味

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者が障害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

一般的な禁止


分解禁止

必ず行う

おすすめします

⚠ 警告

■ 取り扱い管理される方へ

禁止

〈用途〉

- 出退表示システムの端末（表示盤、表示器、操作器等）を、非常通報の用途（トイレ緊急呼出表示システム、ナースコール等）には使用しないでください。

〈取扱い〉

- 表示盤・壁掛型表示ユニット上部及び下部の通気孔を絶対にふさがないでください。故障の原因となります。
- オフィスサインの商品は屋内専用です。防沫型の表記がない商品はぬれた手で機器をさわったり、屋外など水のかかる場所では使用しないでください。感電や故障の原因になります。

〈ケーブル〉

- 通電中、操作器・表示器のモジュラージャックを抜き差ししないでください。感電や故障の原因になります。
- 電源・信号ケーブルに家具などの重いものをのせないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源・信号ケーブルは、たばねて使用しないでください。発熱する恐れがあり、火災や焼損の原因になります。

〈その他〉

- 当社エンジニアリングセンター・エンジニアリング会社以外の方は機器内部に手を触れないでください。感電や故障の原因になります。

分解禁止

- 機器を分解したり、修理・改造はしないでください。故障の原因になります。

必ず行う

- トイレ緊急呼出表示システムの使用時、システムの電源は24時間通電願います。万一の呼び出し操作があっても表示できず、救助に障害が出ます。

■ 施工・点検される方へ

禁止

〈取付け〉

- 壁掛型表示盤及び壁掛型表示ユニットは天井面に密着して設置しないでください。放熱が十分に行われず、故障の原因となります。
  また、大型窓の表示盤では、扉が天井面と接触し開かなくなる恐れがあります。天井面との間に最低限次の隙間を確保してください。
  - ・表示盤（窓サイズ：100mm×30mm）及び表示ユニットでは、15mm以上必要です。
  - ・大型窓の表示盤（窓サイズ：130mm×40mm）では、60mm以上必要です。
- 通気孔が表示盤・壁掛型表示ユニットの上部及び下部にありますので、この穴を絶対にふさがないでください。また、オフィスレイアウト変更によって家具などが通気孔をふさぐような場所には、設置しないでください。

⚠ 警告

■ 施工・点検される方へ

禁止

〈取付け〉つづき

- 壁掛型表示盤の重量は約3ｋｇ以上ありますので、設置される壁は十分な強度があることを確認してください。また取付けには、ボルト径が8.0mm（W5／16″）の“AYアンカーボルト”(弊社製)、またはボルト径が8.0mm（M8）の“ニューAYプラグボルト”(弊社製)をご使用ください。木ネジなどを利用した取付けは、絶対にやめて下さい。振動等で抜け落ちやすく、人身事故につながる危険があります。
- 屋外において電線による信号配線は行わないでください。雷サージの影響により回路基板が故障するおそれがあります。
- オフィスサインの商品は屋内専用です。防沫型の表記がない商品は、屋外など水のかかる場所に設置しないでください。感電や故障の原因になります。

〈ケーブル〉

- 通電中、操作器・表示器のモジュラージャックを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- 工事、施工時のゴミなどは機器の中に残さないでください。感電や火災・故障の原因となります。
- 電源・信号ケーブルに家具などの重いものをのせないでください。
  火災や感電の原因になります。
- 電源ケーブルは、たばねて使用しないでください。
  発熱する恐れがあり、火災や焼損の原因になります。

〈電圧〉

- 定格以外の電圧では使用しないでください。
  感電や火災・故障の原因になります。
- 信号入力端子に電源線（AC100V等）を接続しないでください。他の接続機器及び本機器の故障や発火の原因になります。
- 信号線への絶縁試験（メガテスト）は絶対に行わないでください。
  他の接続機器及び本機器の故障や発火の原因になります。

〈トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システム〉

- 次の内容を無視して誤った取り扱いをしないでください。誤動作の原因となります。特に『トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システム』を使用されている場合、万一の呼び出し操作があっても表示できず、救助に障害が出ます。
  - 接続されている全ての表示盤（ブザー付）、埋込型廊下灯（復旧釦付）は、設定チャンネルの重複をさせないでください。
  - 『トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システム』は当社指定の商品以外は接続しないでください。
  - ＥＩＡラック型表示盤（呼出表示用）のラックを動かす場合、ＥＩＡラック型表示盤に接続されている電源線・アース線・信号線・埋込型ブザー停止操作器（一括復旧釦付）（呼出表示用）用引き出し線を引っ張るなど応力をかけないでください。

〈機器のチャンネル設定〉

全ての接続機器は、設定チャンネルの重複をさせないで下さい。不具合原因となります。

⚠ 警告

■ 施工・点検される方へ

分解禁止

● 機器を分解したり、修理・改造はしないでください。
故障の原因になります。

必ず行う

〈ケーブル〉

● 次の内容を無視して誤った取り扱いをすると誤動作の原因となり、特に『トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システム』を使用されている場合、万一の呼び出し操作があっても表示できず、救助に障害が出ます。

- 信号線には必ず銅製ペア線（シールド付）で、かつφ1．2かφ0.9か1.25mm²（素線径φ0.18以上）をご使用ください。但しφ0．9の場合、伝送ユニットからの配線可能距離はφ1.2の場合の1/2になります。
- 電源線・アース線と、その他の線（信号線など）を以下の配線としてください。
  30cm以上離すか別配管で配線のこと
  通線はセパレーターで分離すること
  機器へは別々の入線孔に通すこと。また機器内でそれら同士を接触させないよう注意すること
- ケーブルは機器へは必ず入線孔から通線させ、ケーブルが内部機器と接触させないよう配線してください。

〈信号線のシールド〉

● 次の内容を無視して誤った取り扱いをすると誤動作の原因となり、特に『トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システム』を使用されている場合、万一の呼び出し操作があっても表示できず、救助に障害が出ます。

- シールド線のシールドアースは、伝送ユニット組込制御盤(L型)のみでアースを落とすことになっています（単独アース）ので、他の接続機器は、シールド線が函体に接触しないよう、絶縁用ビニールテープ等で確実に絶縁処理をしてください。
- 信号線のシールド線は、各端末ではアースに落とさないでください（システムが誤動作する場合があります）。伝送ユニット組込制御盤（L型）で一括してアースしてください。
- 接続機器やモジュラージャックへの配線で、ジャンクションボックス、スイッチボックスまたはアウトレットボックス内での接続となる場合は、信号線およびシールドが函体に接触しないよう、絶縁用ビニールテープ等で確実に絶縁処理をおこなってください。

⚠警告

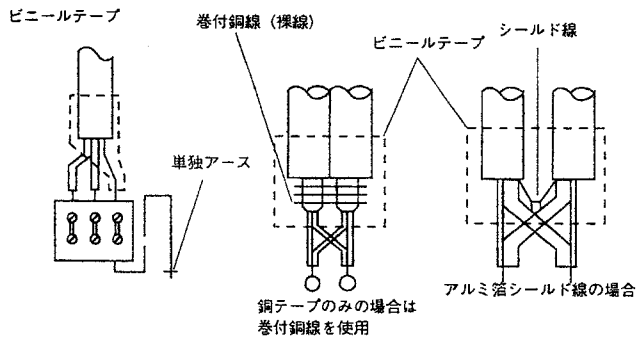
■ 施工・点検される方へ

必ず行う

〈信号線のシールド〉つづき

● 次の内容を無視して誤った取り扱いをすると誤動作の原因となり、特に『トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システム』を使用されている場合、万一の呼び出し操作があっても表示できず、救助に障害が出ます。

・ 信号線（シールド付）同士の接続は、ジョイントボックスまたは圧着仕上げによってシールド線同士の連結接続をおこない、信号系統全体において信号線のシールドが全てつながるようにしてください。またシールド線が函体に接触しないよう、絶縁用ビニールテープ等で確実に絶縁処理をおこなってください。



・ シールド線の端子への接続は確実かつ締め付け圧力によりシールド線が切れないようにおこなってください。

・ シールド線の末端は切りっぱなしにするとショートしますので、函体や信号線自身に接触しないよう絶縁用ビニールテープ等で確実に絶縁処理をおこなってください。

〈アース〉

● AC100Vを供給する機器（但し表示ユニットを除く）は、アースを必ず接続してください。
（第３種接地相当以上（１００Ω以下）。アースを接続しないと感電の原因になります。

〈電池〉

● 伝送ユニット組込制御盤（L　型）のニッカド電池は３年ごとに交換してください。

● ニッカド電池を取りはずした場合は、小さなお子様がニッカド電池を誤って飲むことがないようにしてください。

● ニッカド電池は、お子様の手の届かないところへ置いてください。
万一、お子様が飲みこんだ場合は、ただちに医師に相談してください。

⚠ 警告

■ 施工・点検される方へ

必ず行う

〈トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システム〉

- トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システム用の表示盤（ブザー付）・伝送ユニット組込制御盤（L　　型）・中継増幅器は専用電源（100V）を使用してください。
- トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システムの表示盤、壁掛型表示盤のブレーカーへの電源線の接続は、棒圧着端子をお使いください。使用されない場合、接触不良の為、発火の原因となります。
- トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システムの表示盤（ブザー付）には「自己診断故障報知機能」を搭載しています。管理人など常時人が居る所に必ず設置してください。

〈その他〉

- 端子ねじは確実に締め付けてください。
  ゆるみが生じると火災の原因になります。
- 施工・点検時には必ず主電源を切ってください。
  切らずに行うと感電の危険があります。
- オフィスサインの商品は、専門のエンジニアリングと電気工事が必要です。当社エンジニアリングセンター・エンジニアリング会社にご相談ください。工事に不備があると事故の原因になることがあります。

⚠注意

■ 取り扱い管理される方へ

禁止

● 本体上面に他の機器を置かないでください。ボックスが歪んだり、排熱がうまくできなかったりすることにより、本体が故障するおそれがあります。

必ず行う

〈用途〉

● 本商品は次の環境条件にてご使用下さい。
  - 動作温度範囲：0℃～＋40℃
  - 相対湿度　　：10%～90%RH
  - 使用電圧　　：AC100V±10%　50または60Hz

〈トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システム〉

● トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システムは非常をお知らせするシステムです。（人命救助の商品ではありません）

● トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システムの操作器（スイッチ）の近くには、そのスイッチの使用用途の掲示をしてください。
（例：気分が悪くなった人はこのスイッチを操作してくださいなど）

〈その他〉

● ご使用前には商品の施工が正常に完了し、電気配線が完了した事を確認されてからご使用ください。工事に不備がありますと感電や火災の原因になる事があります。

● 電源プラグが確実に差し込んであることを定期的に確認してください。差し込みが不十分な場合、発熱の原因になります。

● オフィスサインの商品は、システムの機能を充分に発揮するために、定期的な点検が必要です。動作確認と機器外観点検を６ヵ月ごとに実施してください。

● 安全にご使用いただくために、定期メンテナンスをお買い上げの販売店または電気工事店の方にご相談ください。メンテナンス内容及び部品の寿命は本文の「ご使用上のご注意」の項に記載しております。

● 機器取扱いに関しては、機器に付属の取扱説明書もご覧になってください。（ご購入になられた時、機器に添付されています）

● 付属の取扱説明書に記載の方法で対処できないトラブルが発生した時は、サービス会社にご相談ください。

⚠注意

■ 施工・点検される方へ

禁止

〈取付け〉

● 太陽光線が直接あたらない場所（鉛直面照度1000ルクス以下）に取り付けてください。表示が見えなくなる恐れがあります。

〈ケーブル〉

● 指定以外の場所に入線孔をあけないでください。ケーブルが内部機器と接触して機器が破損したり誤動作のおこる原因となります。

● 信号配線は、電話ケーブル、インターホン等の配線とは同一配管で配線しないでください。電話線に伝送信号のノイズがのり、悪影響を及ぼす可能性があります。

● 配線後あまったケーブルを、内部に収納しないでください。ケーブルより、内部機器にノイズが入り、誤動作のおこる原因となります。

必ず行う

〈取付け〉

● 本商品は次の環境を満たす場所に設置してください。

- 動作温度範囲：0℃～＋40℃
- 相対湿度　　：10％～90％RH
- 使用電圧　　：AC100V±10％　50または60Hz
- 保守が容易な場所
- 卓上型機器のコードが通行される人の足にひっかかることがない場所
- 直射日光があたらない場所
- 水滴、蒸気、ほこりなどがかからない場所
- 温泉地等の硫化水素の発生しない場所
- 周囲に操作上支障となる障害物のない場所
- 衝撃、振動などの影響を受けない場所

〈その他〉

● 電源プラグが確実に差し込んであることを定期的に確認してください。差し込みが不十分な場合、発熱の原因になります。

おすすめします

〈トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システム〉

● 伝送ユニット組込制御盤（L 型）・中継増幅器・トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システムの表示盤（ブザー付）には停電時の表示用電池は内蔵していません。自家発電装置やUPS（交流無停電電源）のご使用をおすすめします。

有寿命部品の寿命について

本商品は常時運転しており、電気的な特性劣化も含め、定期的なメンテナンスが必要です。又、下記の使用性能部品にも寿命があります。

(1) 性能部品の平均寿命

各部品の寿命は下表の通りです。部品交換の目安としてください。

	性能部品	平均寿命	使用条件
伝送ユニット 組込制御盤 （Ｌ型）	ニッケル・カドミウム蓄電池 （３Ｎ５５０ＡＡＳ－３９０１）	３年	温度　２０±２℃ 湿度　６５±５％ １日２４時間通電状態で年１０回程度の停電が発生時。
壁掛型表示盤、 壁掛型表示盤(呼出表示用)、 ＥＩＡラック型表示盤 (呼出表示用)	スイッチング電源	５００００時間 （約６年）	温度　２０±２℃ 湿度　６５±５％ 環境温度５０℃で負荷率１００％にて１日２４時間使用時。
	ＬＥＤ表示ブロック	９年	温度　２０±２℃ 湿度　６５±５％ 環境温度５０℃で負荷率１００％にて１日１０時間使用時。
操作器24 (28)窓 表示器24 (28)窓 操作器(個別用) (24 (28)窓表示器付)	同上	同上	同上
埋込型表示ランプ （スイッチ付） 埋込型表示ランプ （スイッチなし）	同上	同上	同上

目　次

◇ 基本仕様 …… 1

◇ 配線設計 …… 6～11

◇ 伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）の取付工事 …… 12

◇ 伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）の結線工事 …… 13

◇ 各機器の取扱方法 …… 14～53

◇ プログラム設定手順書 …… 54～63

◇ 故障と思われる前に …… 64

◇ アフターサービス …… 65～67

◇ 付録（重要）　屋外での信号伝送（光伝送）について …… 68

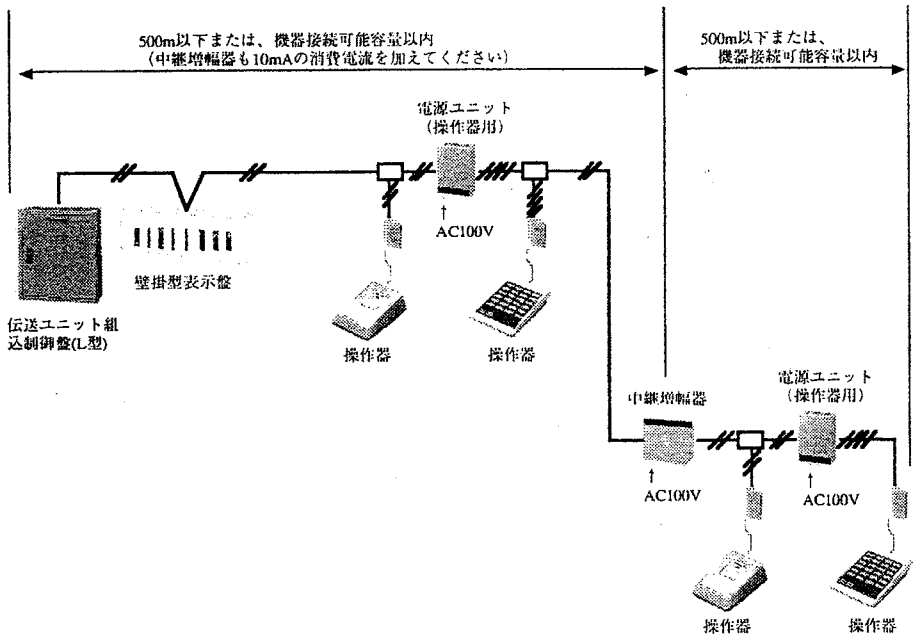
品番の読み方

EDN	1桁	1桁	1桁	1桁	2桁
	機種	L／M／S／呼出／他	表示モード／他	構造	窓数 或は 管理No.
	1 表示盤関係 4 操作器関係 5 表示器関係 6 24(28)窓表示器付個別用操作器関係 7 伝送ユニット関係 8 端末関係 9 その他	1 Lシリーズ 2 Mシリーズ 3 個別配線式ｼﾘｰｽﾞ 4 呼出表示システム 5 テレコン 6 応答連絡システム 7 診療所連絡応答システム 9 共用・分類不可	1 2モード・緑-消 2 2モード・赤-消 4 4モード 6,7 呼出表示システム	1 卓上型 2 露出型 3 壁掛型 4 埋込型等 5 EIAラック型 6 埋込型表示ﾗﾝﾌﾟ 9 壁掛型(大型用) 0 その他	

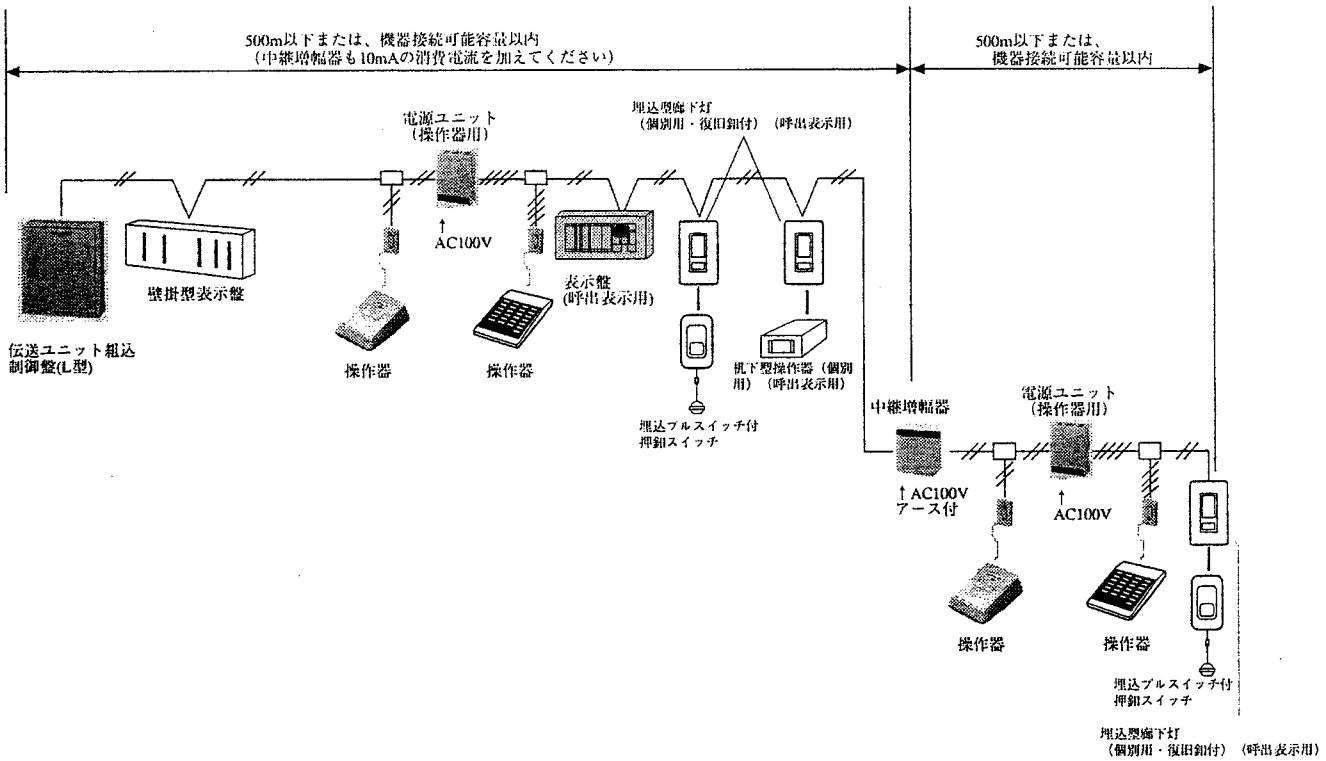
基本仕様

(1) 本商品の基本的なシステム構成は以下の通りです。

出退表示単独



出退表示＋呼出表示（トイレ緊急呼出表示、警報呼出表示）



＊信号線は全て1P（2芯）の無極性送り配線です。

機器仕様

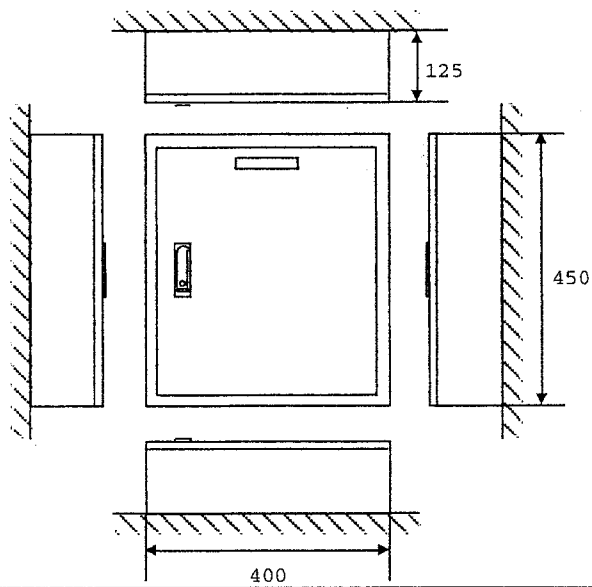
伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）

項　目		仕　様
特徴		釦と表示させる窓の位置が自由に設定可能 設定方法：伝送ユニットにて窓番号を変える （名前番号は変えない）
信号線		2線
出退表示入／切の方法		“信号”SW“出退”で出退表示・呼出表示可能 “信号”SW“呼出”で出退表示部が消灯後、呼出表示可能
表示内容	出退表示システム	4モード　：　①　緑→赤→橙→消 ②　橙→赤→緑→消 ③　赤→緑→橙→消 ④　緑→赤→消　　4通り 2モード　：　①　緑→消 ②　赤→消 ③　橙→消　　3通り
	緊急呼出表示システム （警報呼出表示システム）	（使用中表示：橙→消） 呼出状態：赤点滅 現場確認：緑点灯 終了復帰：消灯
	設定方法	“表示モード切替”SWにて設定
最大表示数	最大表示人数	250人
	最大呼び出し場所数	30箇所（呼出表示用）
接続端末チャンネル番号（台数）		1～255（計255台）
	各出退表示用端末	1～120，128，160～255（計217） 但し 32，40，48窓壁掛型表示盤は1台で2チャンネル使用 64窓壁掛型表示盤は1台で3チャンネル使用
	壁掛型表示盤(呼出表示用) EIAラック型表示盤 （呼出表示用）	121～127（7台）
	埋込型廊下灯 （個別用･復旧釦付）	129～158（30台）
チャンネル・窓・名前番号の呼出、登録方法		確認：“確認”釦にて先頭チャンネルの登録内容が7セグLEDに表示 登録：“チャンネル番号”・“窓番号”・“名前番号”の“＋”“－”釦で番号指定後、書込釦にて登録
最大登録データ数		“チャンネル番号”－“窓番号”－“名前番号”の組合せが、2623組（ステップ）

項　目			仕　様
定期的な端末のリフレッシュ表示			可能（常時表示データを順に自動送信）
端末再起動時の表示復帰			可能（AC100V電源が供給されている端末は、再起動時に表示データを自動送信）
強制退出表示消全の灯	タイムスイッチ設定による自動の場合		タイムスイッチにて、以下の設定で可能 手順　1）24時間ダイヤル設定子で毎日の表示消灯時間帯を設定 2）曜日選択スイッチで1）を動作させる曜日を設定
	手動操作の場合		伝送ユニットの“信号”SW“呼出”で可能
応答連絡機能	操作器ブザー鳴動1回／連続切替		―――
	呼出モード／フロントコールモード切替		―――
停電補償時間	伝送ユニット	チャンネル設定内容	800時間
		端末表示色	
	タイムスイッチ	現在時刻	10年間
		動作プログラム	無期限
異常検出・通知	端末未接続		“返信無”ランプ点灯 未接続端末のチャンネルNo.を記憶。動作モードを確認で表示
	伝送ユニット異常信号線異常		“短絡”ランプ点灯
	操作器（個別用）（呼出表示用）異常		表示盤（呼出表示用）上の故障表示“呼出”ランプを緑点灯させる
	埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）異常未接続		表示盤（呼出表示用）上の故障表示“廊下灯”ランプを黄点灯させる
チャンネル設定の初期化			手順　1）“信号”SW“呼出”，テストSW“切”，動作モードを“書込” 2）“リセット”釦，“書込”釦を同時に押す
テスト表示	表示内容		登録されたチャンネル番号，窓番号の順番に橙点灯させる
	方法		手順　1）“信号”SWが“出退” 2）“テスト”SWが“入”状態の間、テスト表示が繰り返される
応用機能	複数の釦による1つの窓の表示		可能 設定方法：伝送ユニットにて、連動させる釦および窓の名前番号を同じにする （チャンネル番号は同じにしないこと）
	1つの釦による複数の窓の表示		

項　目		仕　様
信号系＊	信号方式	時分割多重伝送方式
	出力信号電圧	±24V
	出力信号電流	MAX　500mA
	信号線極性	無
	信号伝送スピード	10kbps
	信号線最遠長距離	500m以内
	信号線総長	1.5km以内
	適合線種	銅製ペア線（シールド付）ϕ1.2、ϕ0.9、1.25mm^2
	信号線短絡保護回路	内蔵

＊　(1) 信号線は屋内配線のみにしてください。途中で屋外架線、屋側配線、地中埋設配管などをしないでください。
(2) 信号線のシールドは、伝送ユニット側にて1点アースしてください（2点アースはしないでください）。また送り配線等で信号線を継ぎ足す場合、必ずシールド同士も送り配属し、全てのシールド部が伝送ユニット側の1点アースとつながるようにしてください。

項　目		仕　様
定格	電源	AC100V±10%　50／60Hz共用
	消費電力	30VA
	外観 寸法　(mm)	
	重量	13.0kg
	塗装色	クリームホワイト（2.5Y9／1　近似色）
設置環境	温湿度条件	0～40℃，10～90%RH
	塵埃	特にひどくないこと
	腐食性ガス	ないこと
	主な設置場所	屋内（ビル内の事務所・ロビー・ホール）

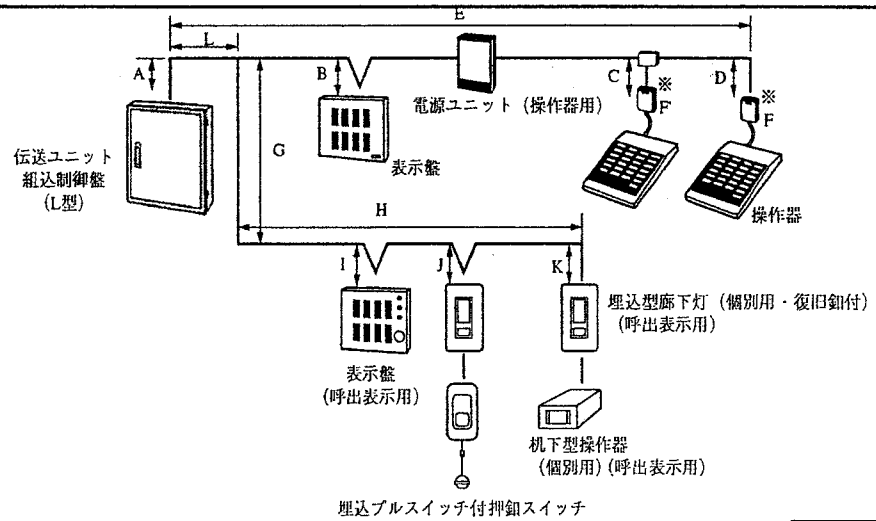
配線設計

配線距離は、設置する機器台数により変わりますので次の様に計算してください。信号線は必ず銅製ペア線（シールド付）で、かつφ1.2，φ0.9，1.25mm2（素線径φ0.18以上）をご使用ください。但しφ0.9の場合、φ1.2の電線の配線距離の各項目数値を1/2として計算してください。

伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）の配線設計

⚠注意 信号線とAC100V、電話線、放送線、インターホン電線とは必ず別配管で配線してください。

1．配線総長は1500m以下。配線最遠長は500m以下でご使用ください。



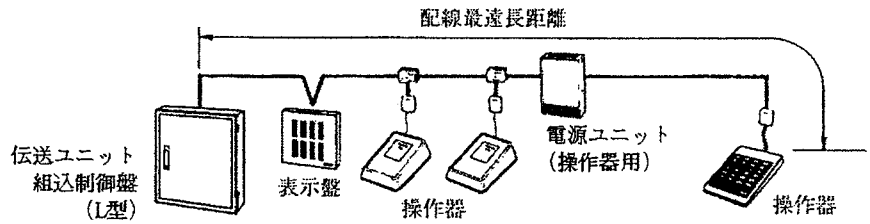
配線総長＝ A＋(B×２)＋C＋D＋E＋(F＋F')＋G＋H＋(I×２)＋(J×２)＋K … ≦1500m

配線最遠長＝ A＋(B×２)＋D＋E＋F ≦500m

A＋L＋G＋H＋(I×2)＋(J×2)＋K ≦500m

※ F・Fの附属モジュラーコードおよび個人用卓上型操作器（個別用）のモジュラーコードは長さ1.5mですが、計算上はφ1.2に換算して50mとしてください。

2．配線最遠長距離により、伝送ユニット組込制御盤（L型）の機器接続可能容量が変わります。



機器接続可能容量

使用電線 ＼ 配線最遠長距離	100m	200m	300m	400m	500m
φ1.2（1.25mm²）	500mA	500mA	450mA	370mA	310mA

※使用電源のインピーダンスにより、機器接続可能容量が低下します。また、多重伝送の信号波形のなまりによる誤動作防止のため、最遠長距離は500mが限度です。

※機器接続可能容量の計算時に電源ユニット（操作器用）は含みません。

※例）最遠長距離が350mの時は、機器接続可能容量は370mAで計算してください。

設置台数と配線距離について

設置する機器の消費電流の合計値が下記の機器接続可能容量以内でご使用ください。

機　器　名	信号消費電流
卓上型操作器（24窓）・卓上型表示器（24窓）、卓上型操作器（28窓）・卓上型表示器（28窓）、卓上型操作器（個別用）（24窓表示器付）、卓上型操作器（個別用）（28窓表示器付）、壁掛型操作器（24窓）・壁掛型表示器（24窓）、30窓以内の壁掛型表示盤、壁掛型表示盤（呼出表示用）、EIAラック型表示盤（呼出表示用）	5mA
30窓を超える壁掛型表示盤＝30窓を１台として計算してください。（例　64窓…15mA）	台数×5mA
卓上型操作器（個別用）、埋込型操作器（個別用）、露出型操作器（個別用）、入力端末器（２入力用）、入力端末器（１入力・１出力用）	20mA
埋込型表示ランプ（スイッチ付）、埋込型表示ランプ（スイッチなし）	35mA
中継増幅器	10mA
埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）	70mA

基準：接続可能容量＞各機器消費電流値の合計

例）配線最遠長距離が460m、設置機器は卓上型操作器（24窓）が1台、壁掛型表示盤（24窓）が2台、卓上型操作器（個別用）が10台で、使用電線がφ1.2の場合。

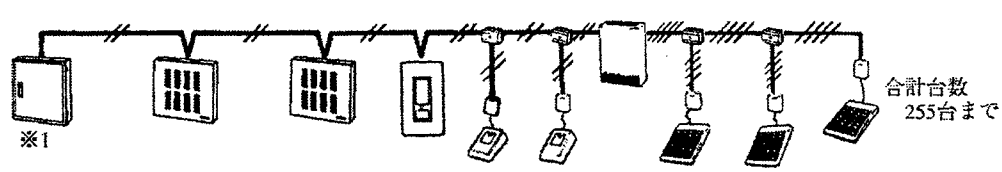
5mA（卓上型操作器(24窓)）　＋　5mA×2台（壁掛型表示盤(24窓)）　＋　20mA×10台（卓上型操作器(個別用)）　＝215mA…

機器接続可能容量310mA以下ですので容量的には問題ありません。

⚠注意　配線最遠長距離が500m以上になる場合または機器接続可能容量以上の接続台数となる場合は、次のページの中継増幅器の配線設計をご覧ください。

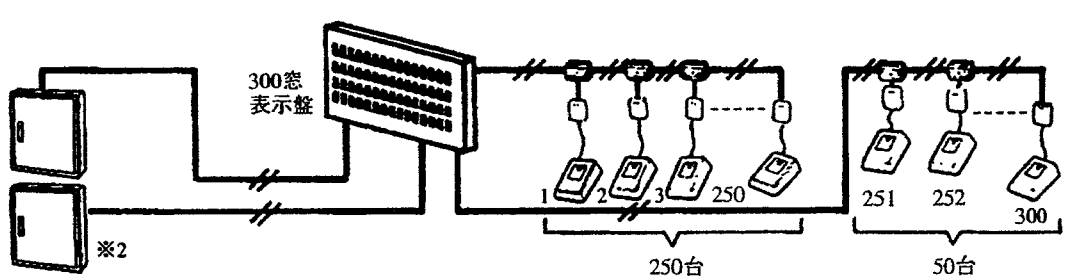
■機器接続台数（電源ユニット〈操作器用〉や中継増幅器は含みません）→合計255台まで

中継増幅器を設置することにより、チャンネルを割り当てる操作器、表示器などの全ての接続機器（壁掛型表示盤は表示窓数が30窓以下）の合計台数が255台までは接続可能です。



■壁掛型表示盤、表示盤（呼出表示用）の表示窓数→表示すべき名前、場所の数は合計最大250まで

壁掛型表示盤の表示すべき名前、場所の数が合計250まで（うち表示盤（呼出表示用）の表示すべき場所の数は最大30のこと）。例えば表示盤の表示すべき名前の数が300窓の場合は伝送ユニット組込制御盤は2台必要です。

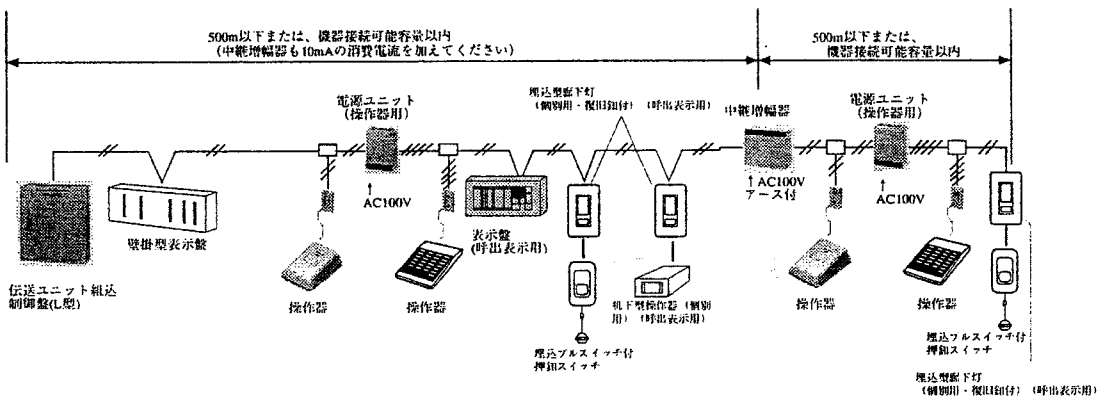


※1・※2　接続機器の合計台数が255台以上の場合や、壁掛型表示盤、表示盤（呼出表示用）の表示すべき名前の数が250を越える場合は、伝送ユニット組込制御盤の追加が必要です。伝送ユニット組込制御盤が2台となった場合は、信号線は伝送ユニット組込制御盤ごとに別配線となります。

中継増幅器（EDN99202）の配線設計

システム規模の拡大・機器の増設、多重伝送信号ラインの延長の際に使います。配線最遠長が500m以上、または伝送ユニット組込制御盤の接続可能容量を越えた台数を接続する時に追加します。

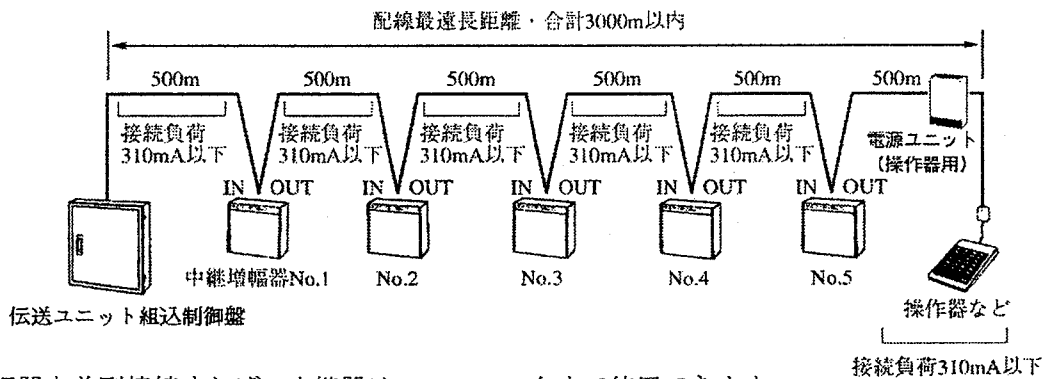
1. 最遠長距離が500mを越える場合、または機器の消費電流値の合計が伝送ユニット組込制御盤の接続可能容量を越える場合は、必ず中継増幅器を追加してください。



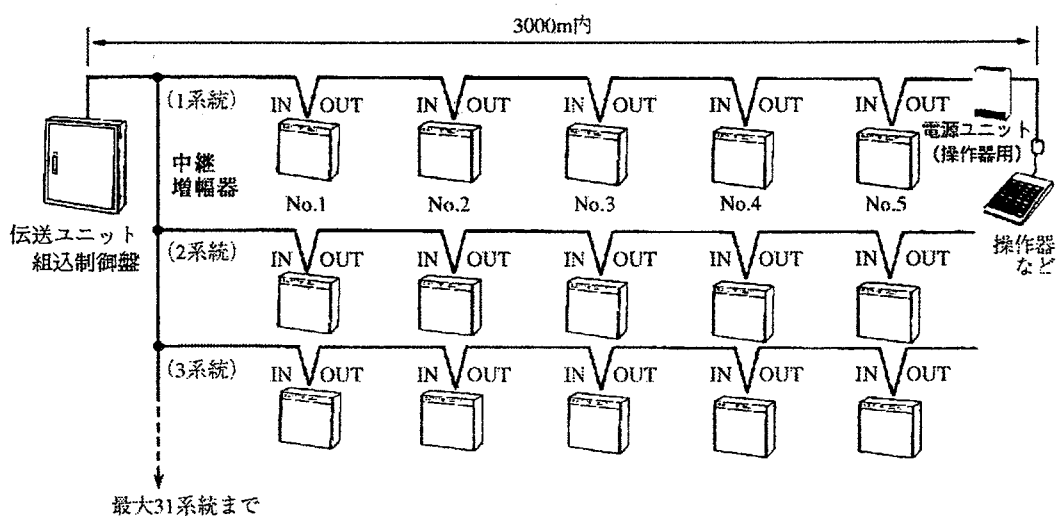
●中継増幅器以降は、最遠長距離が500m以下、または伝送ユニット組込制御盤の機器接続可能容量以内で接続できます。

2. 中継増幅器を直列に接続すれば、最遠長距離が3000mまで可能です。

●中継増幅器は直列接続で5台まで接続可能。（各増幅器に500m以内で310mAまでの機器が接続できます。）



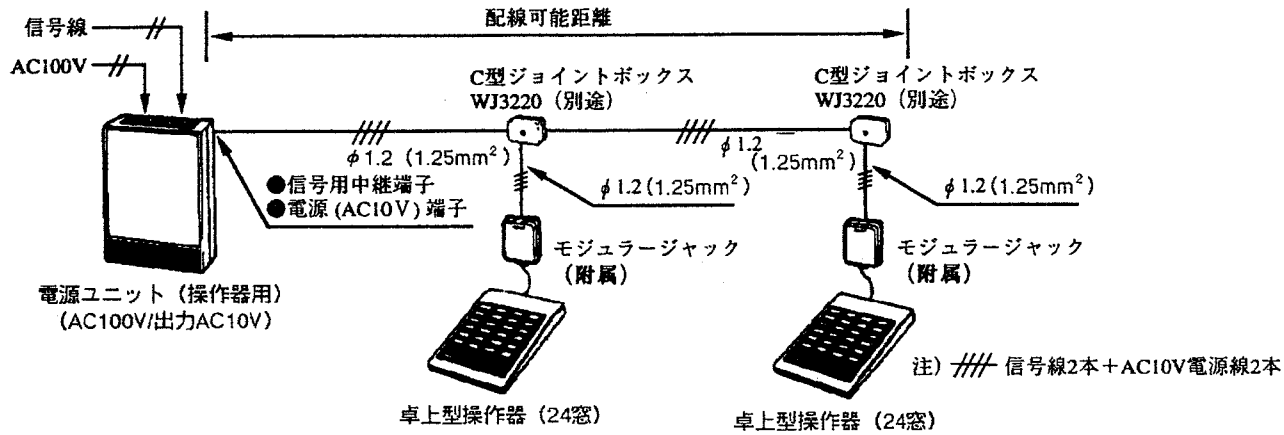
●中継増幅器を並列接続すれば、中継器は31×5＝155台まで使用できます。



電源ユニット（操作器用）（EDN99201）の配線設計

卓上型操作器(24窓)(EDN494124)、卓上型操作器(28窓)(EDN494128)、卓上型表示器(24窓)(EDN594124)、卓上型表示器(28窓)(EDN594128)、卓上型表示器(個別用)(24窓表示器付)(EDN694124)、卓上型表示器(個別用)(28窓表示器付)(EDN694128)、壁掛型集中操作器(24窓)(EDN494324)、壁掛型集中表示器(24窓)(EDN594324)の電源として使用します。
卓上型操作器・表示器、壁掛型操作器・表示器の設置台数により配線可能距離が変わります。

●直列接続の場合

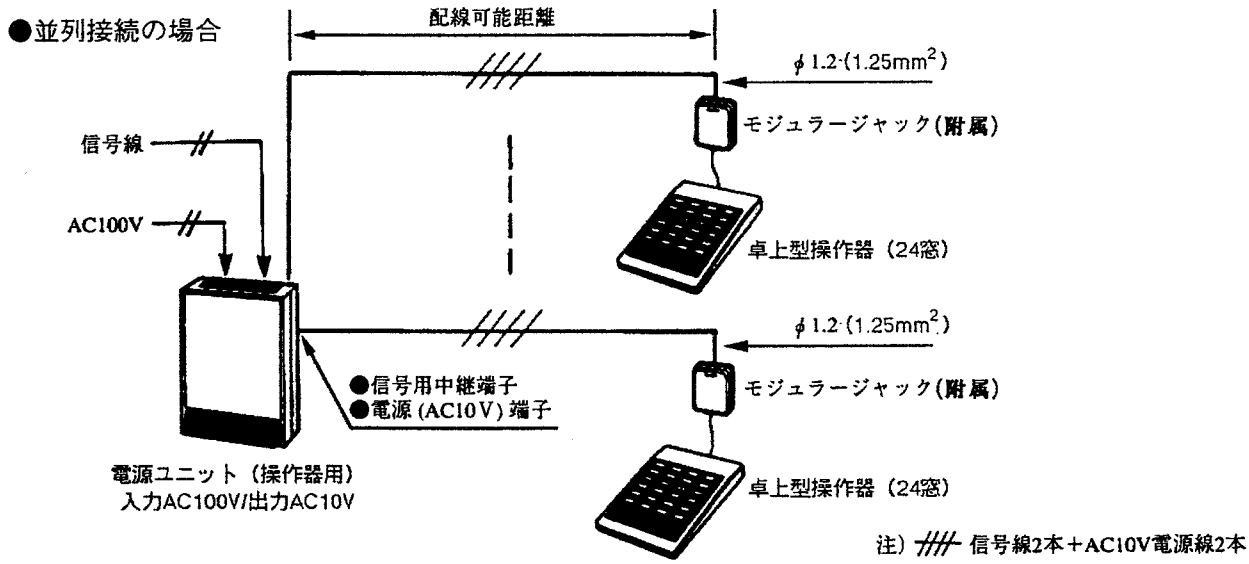


配線可能距離（m）　対象：上記全機種。操作器（24窓）・表示器（24窓）・操作器（24窓表示器付）
操作器（28窓）・表示器（28窓）・操作器（28窓表示器付）

操作器台数 / 使用電線	1台	2台	3台	4台
φ1.2（1.25mm²）	140m	65m	40m	25m

最大接続台数は合計4台
28窓を1台でも含む場合は、接続可能台数が合計3台となります。

●並列接続の場合



1系統当りの配線可能距離（m）　対象：上記全機種。操作器（24窓）・表示器（24窓）・操作器（24窓表示器付）
操作器（28窓）・表示器（28窓）・操作器（28窓表示器付）

操作器台数 / 使用電線	1台	2台	3台	4台
φ1.2（1.25mm²）	140m	120m	110m	100m

最大接続台数は合計4台
28窓を1台でも含む場合は、接続可能台数が合計3台となります。

⚠注意　上記基準に満たない場合は、操作器用電源ボックスを必ず追加してください。

接続可能な機器の定格一覧

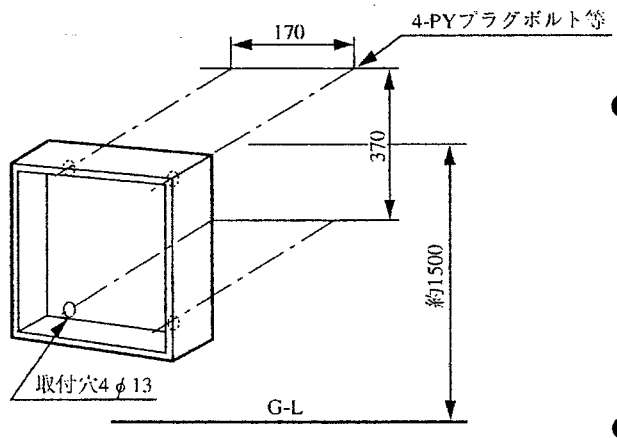
品　　番	品　　名	定格電圧	電源容量	信号消費電流
EDN71301K	伝送ユニット組込制御盤（L型）	AC100V	30VA	—
EDN99202	中継増幅器	AC100V	22VA	10mA
EDN99201	電源ユニット（操作器用）	AC100V	25VA	—
EDN494124	卓上型操作器（24窓）	AC10V	5VA	5mA
EDN594124	卓上型表示器（24窓）	AC10V	5VA	5mA
EDN694124	卓上型操作器（個別用）（24窓表示器付）	AC10V	5VA	5mA
EDN494128	卓上型操作器（28窓）	AC10V	5.5VA	5mA
EDN594128	卓上型表示器（28窓）	AC10V	5.5VA	5mA
EDN694128	卓上型操作器（個別用）（28窓表示器付）	AC10V	5.5VA	5mA
EDN494324	壁掛型操作器（24窓）	AC10V	5VA	5mA
EDN594324	壁掛型表示器（24窓）	AC10V	5VA	5mA
EDN494401	埋込型操作器（個別用）	—	—	20mA
EDN494101	卓上型操作器（個別用）	—	—	20mA
EDN494201	露出型操作器（個別用）	—	—	20mA
EDN494601	埋込型表示ランプ（スイッチ付）	—	—	35mA
EDN594601	埋込型表示ランプ（スイッチなし）	—	—	35mA
EDN812401	入力端末器（1入力・1出力用）	—	—	20mA
EDN812402	入力端末器（2入力用）	—	—	20mA
EDN111302	壁掛型表示盤（2窓）（2モード・緑）	AC100V	16VA	5mA
EDN111303	壁掛型表示盤（3窓）（2モード・緑）	AC100V	18VA	5mA
EDN111304	壁掛型表示盤（4窓）（2モード・緑）	AC100V	23VA	5mA
EDN111306	壁掛型表示盤（6窓）（2モード・緑）	AC100V	30VA	5mA
EDN111308	壁掛型表示盤（8窓）（2モード・緑）	AC100V	36VA	5mA
EDN111310	壁掛型表示盤（10窓）（2モード・緑）	AC100V	44VA	5mA
EDN111312	壁掛型表示盤（12窓）（2モード・緑）	AC100V	50VA	5mA
EDN111316	壁掛型表示盤（16窓）（2モード・緑）	AC100V	63VA	5mA
EDN111318	壁掛型表示盤（18窓）（2モード・緑）	AC100V	68VA	5mA
EDN111320	壁掛型表示盤（20窓）（2モード・緑）	AC100V	81VA	5mA
EDN111324	壁掛型表示盤（24窓）（2モード・緑）	AC100V	94VA	5mA
EDN111332	壁掛型表示盤（32窓）（2モード・緑）	AC100V	120VA	10mA
EDN111340	壁掛型表示盤（40窓）（2モード・緑）	AC100V	146VA	10mA
EDN111348	壁掛型表示盤（48窓）（2モード・緑）	AC100V	186VA	10mA
EDN111364	壁掛型表示盤（64窓）（2モード・緑）	AC100V	240VA	15mA
EDN112302	壁掛型表示盤（2窓）（2モード・赤）	AC100V	14VA	5mA
EDN112303	壁掛型表示盤（3窓）（2モード・赤）	AC100V	18VA	5mA
EDN112304	壁掛型表示盤（4窓）（2モード・赤）	AC100V	20VA	5mA
EDN112306	壁掛型表示盤（6窓）（2モード・赤）	AC100V	28VA	5mA
EDN112308	壁掛型表示盤（8窓）（2モード・赤）	AC100V	34VA	5mA
EDN112310	壁掛型表示盤（10窓）（2モード・赤）	AC100V	42VA	5mA
EDN112312	壁掛型表示盤（12窓）（2モード・赤）	AC100V	48VA	5mA
EDN112316	壁掛型表示盤（16窓）（2モード・赤）	AC100V	59VA	5mA
EDN112318	壁掛型表示盤（18窓）（2モード・赤）	AC100V	66VA	5mA
EDN112320	壁掛型表示盤（20窓）（2モード・赤）	AC100V	77VA	5mA
EDN112324	壁掛型表示盤（24窓）（2モード・赤）	AC100V	90VA	5mA
EDN112332	壁掛型表示盤（32窓）（2モード・赤）	AC100V	114VA	10mA
EDN112340	壁掛型表示盤（40窓）（2モード・赤）	AC100V	140VA	10mA
EDN112348	壁掛型表示盤（48窓）（2モード・赤）	AC100V	175VA	10mA

品　　番	品　　名	定格電圧	電源容量	信号消費電流
EDN112364	壁掛型表示盤（64窓）（2モード・赤）	AC100V	230VA	15mA
EDN114302	壁掛型表示盤（2窓）（4モード）	AC100V	18VA	5mA
EDN114303	壁掛型表示盤（3窓）（4モード）	AC100V	23VA	5mA
EDN114304	壁掛型表示盤（4窓）（4モード）	AC100V	27VA	5mA
EDN114306	壁掛型表示盤（6窓）（4モード）	AC100V	36VA	5mA
EDN114308	壁掛型表示盤（8窓）（4モード）	AC100V	46VA	5mA
EDN114310	壁掛型表示盤（10窓）（4モード）	AC100V	55VA	5mA
EDN114312	壁掛型表示盤（12窓）（4モード）	AC100V	63VA	5mA
EDN114316	壁掛型表示盤（16窓）（4モード）	AC100V	81VA	5mA
EDN114318	壁掛型表示盤（18窓）（4モード）	AC100V	94VA	5mA
EDN114320	壁掛型表示盤（20窓）（4モード）	AC100V	103VA	5mA
EDN114324	壁掛型表示盤（24窓）（4モード）	AC100V	120VA	5mA
EDN114332	壁掛型表示盤（32窓）（4モード）	AC100V	155VA	10mA
EDN114340	壁掛型表示盤（40窓）（4モード）	AC100V	190VA	10mA
EDN114348	壁掛型表示盤（48窓）（4モード）	AC100V	230VA	10mA
EDN114364	壁掛型表示盤（64窓）（4モード）	AC100V	306VA	15mA
EDN114908	壁掛型表示盤（8窓・大型用）（4モード）	AC100V	55VA	5mA
EDN114912	壁掛型表示盤（12窓・大型用）（4モード）	AC100V	80VA	5mA
EDN114916	壁掛型表示盤（16窓・大型用）（4モード）	AC100V	110VA	5mA
EDN114924	壁掛型表示盤（24窓・大型用）（4モード）	AC100V	160VA	5mA
EDN447401K	埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）	—	—	70mA
WS65772	埋込プルスイッチ付押釦スイッチ	DC30V	3VA	—
EDN446202	机下型操作器（個別用）（呼出表示用）	—	—	—
EDN446403	埋込型操作器（個別用）（呼出表示用）	—	—	—
EDN446404	埋込型ブザー停止操作器（一括復旧釦付）（呼出表示用）	—	—	—
EDN146301	壁掛型表示盤（1窓・ブザー付）（呼出表示用）	AC100V	15VA	5mA
EDN146303	壁掛型表示盤（3窓・ブザー付）（呼出表示用）	AC100V	24VA	5mA
EDN146305	壁掛型表示盤（5窓・ブザー付）（呼出表示用）	AC100V	31VA	5mA
EDN146310	壁掛型表示盤（10窓・ブザー付）（呼出表示用）	AC100V	56VA	5mA
EDN147501	EIAラック型表示盤（1窓・ブザー付）（呼出表示用）	AC100V	14VA	5mA
EDN147503	EIAラック型表示盤（3窓・ブザー付）（呼出表示用）	AC100V	16VA	5mA
EDN147505	EIAラック型表示盤（5窓・ブザー付）（呼出表示用）	AC100V	18VA	5mA
EDN146505	EIAラック型表示盤（5窓・増設用）（呼出表示用）	—	22VA	—

伝送ユニット組込制御盤（L型）（END71301K）の取付工事

■取付方法

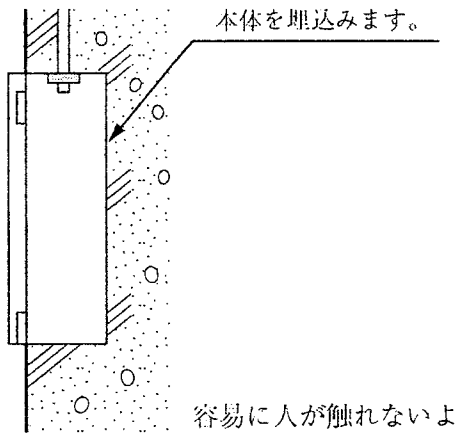
1．壁面取付の場合



●アウトレットボックス内は、電源線・アース線と信号線分離用のセパレータを取り付けるか電源線・アース線と信号線専用のアウトレットボックスを設置してください。
（内線規定400-9、410-9、415-7）

●伝送ユニット組込制御盤（L型）への電源線は専用回線とし、常時通電回路からお取りください。

2．埋込取付の場合

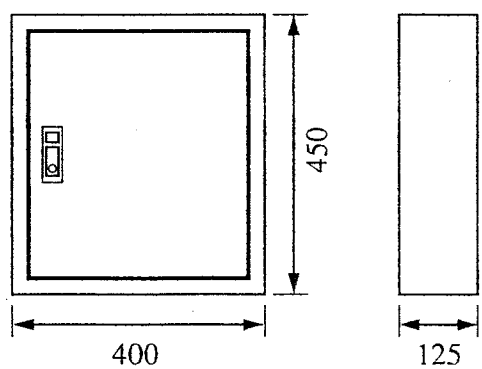


容易に人が触れないような場所に設置してください。

■仕様

ケース	鋼板クリームホワイト色
定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz共用
消費電力	30VA（最大負荷接続時）
信号電圧	±24V
機器接続可能容量	最大500mA
機器接続可能数	255台
伝送方式	サイクリック時分割多重伝送方式
配線方式	２線無極性
伝送速度	約15msec/端末（10kbit/sec）
タイムスイッチ部	週間式タイムスイッチ （TB262101） 10年間分の停電補償用電池付
コントローラ部	メモリ800時間停電補償付
型　式	壁取付・壁埋込共用
質　量（重量）	約15kgf

■寸法図



■同梱部品

伝送ユニット組込制御盤（L型）には、制御盤本体の他に下記の物が同梱されています。

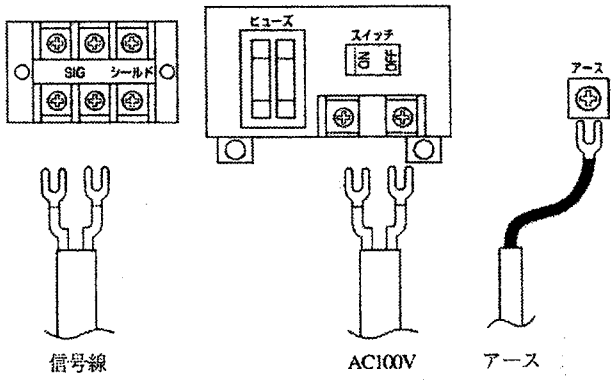
・ｵﾌｨｽｻｲﾝLｼﾘｰｽﾞ取扱説明書（本書）　1

・プログラム表　5枚

伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）の結線工事

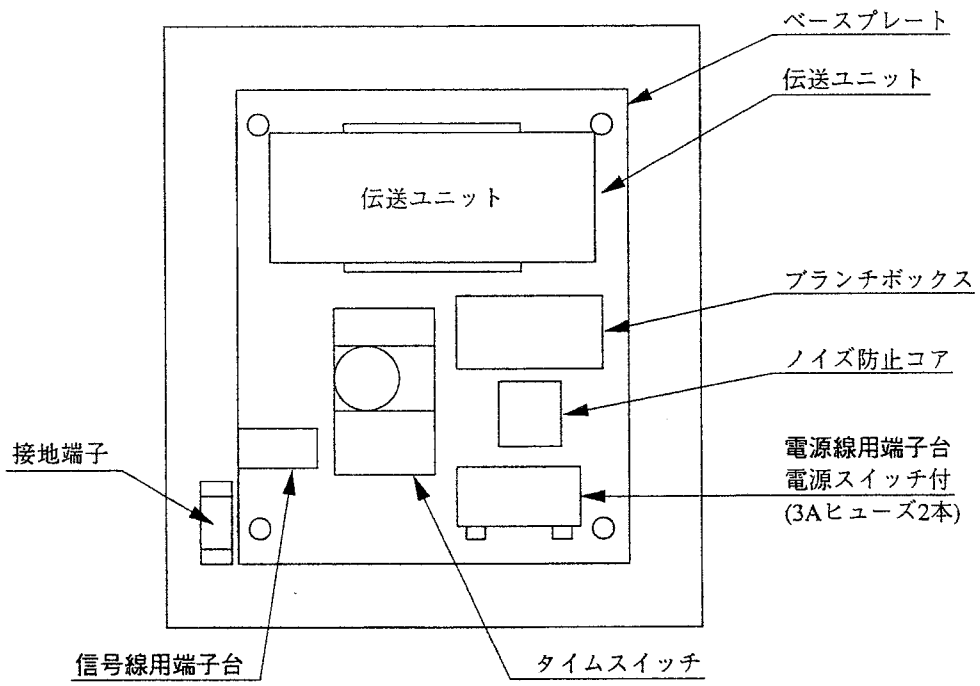
●伝送ユニット組込制御盤（L型）への電源線は専用回線とし、常時通電回路からお取りください。

■端子への接続



信号線のシールド線はシールド端子に接続し、一点アースとしてください。

■端子の位置



EDN71301K内部配置図

・アース端子は、ケース本体にあります。

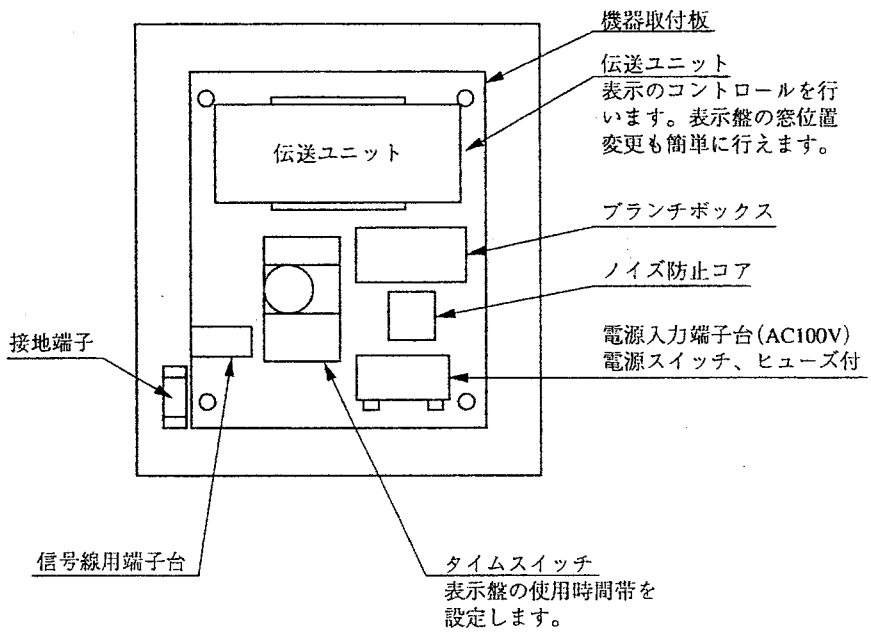
・信号線は無極性のため、振り替っても差しつかえありません。

⚠注意　信号出力端子に誤って電源線（AC100V等）を接続されますと、伝送ユニット組込制御盤（L型）がこわれますので充分に注意してください。

伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）の取扱方法

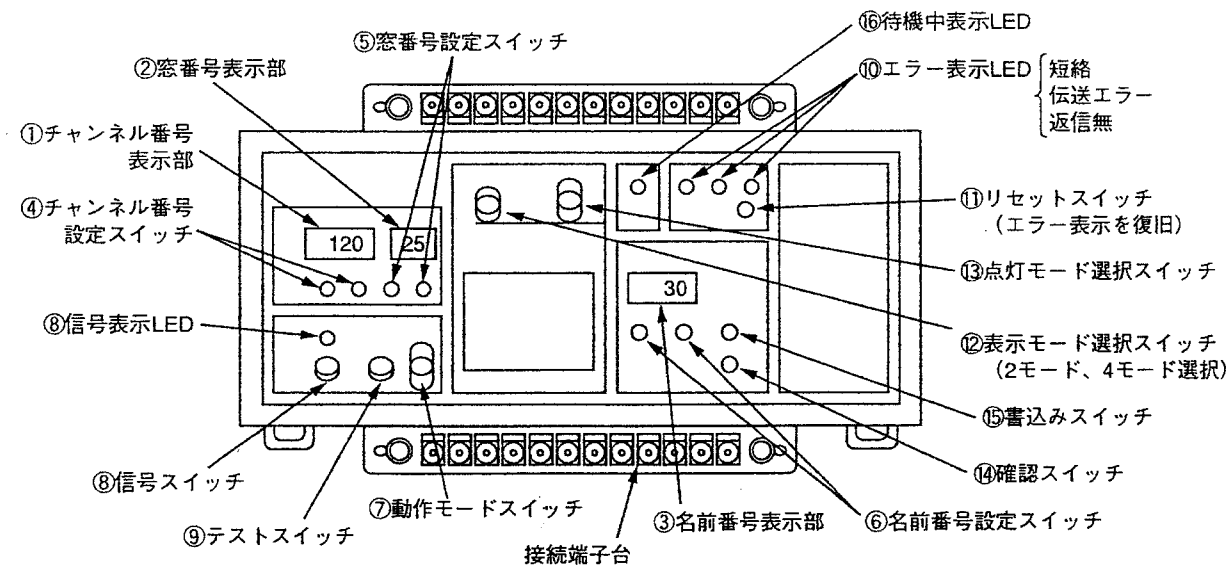
ご注意）　商品を開梱後、表示データの登録を行う前に必ず、登録データを全て消去してください。（P16 “3．登録データを全て消去する方法”参照）

■各部の名称



接続する機器を同一チャンネルに設定しないでください。誤っておこなうと不都合が生じます。

■伝送ユニット部各部の名称とはたらき



① チャンネル番号表示部：チャンネル番号を表示します。（1～255ch）

② 窓番号表示部：窓番号を表示します。（1～30）

③ 名前番号表示部：名前番号を表示します。（1～250）

④ チャンネル番号設定スイッチ：＋・－スイッチでチャンネル番号を設定します。

⑤ 窓番号設定スイッチ：＋・－スイッチで窓番号を設定します。

⑥ 名前番号設定スイッチ：＋・－スイッチで名前番号を設定します。

⑦ 動作モードスイッチ：確認・書込みの際、使用します。通常は動作の位置にしておきます。

⑧信号スイッチ：信号スイッチを「出退」にすると出退表示・呼出表示可能となります。「呼出」にすると出退表示部が消灯となり、呼出表示可能となります。

⑨テストスイッチ：設置時、表示素子の故障と配線工事を確認するために使用します。信号スイッチを「出退」、テストスイッチを「入」にするとチャンネル、窓番号の順に順次点灯し、テストスイッチを「切」にするまでテスト表示が繰り返されます。（但しプログラム登録されている表示部のみ）

⑩エラー表示LED：伝送線の短絡・伝送信号のエラー・端末が接続されていない場合、点灯します。

⑪リセットスイッチ：エラー内容を修正後、リセットスイッチを押すとエラー表示LEDが消えます。

⑫表示モード選択スイッチ：システムを2モードか4モードで使用するかを設定します。

⑬点灯モード選択スイッチ：システムの表示器の点灯パターンを選択します。

⑭確認スイッチ：名前番号が設定されているチャンネル番号と窓番号を表示してプログラムを確認する時に使用します。（エラー表示LEDが点灯している場合は、不良機器のチャンネル番号を確認できます。）

⑮書込スイッチ：チャンネル番号、窓番号、名前番号を設定して書込スイッチを押すことにより記憶されます。

⑯待機中表示LED：ご注意事項（3）（P.18）をご参照ください。

■表示データの登録方法

ある操作スイッチを押した時どの表示盤のどの窓を点灯させるかを伝送ユニットに記憶させる必要があります。別紙プログラム表に登録するデータを記入してください。

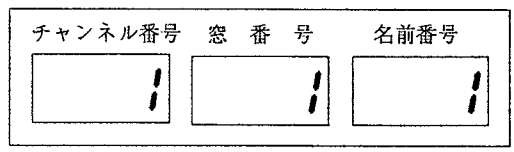
※尚、詳細はプログラム設定手順書をお読み下さい。

1. データの登録方法

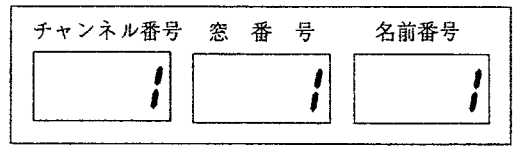
信号スイッチ「出退」、テストモードスイッチ「切」、動作モードスイッチ「書込」にします。「待機中」表示が点灯します。

以下に「チャンネル設定1の表示盤の窓番号1の位置に名前番号1の人を表示させる場合」の登録方法について説明します。

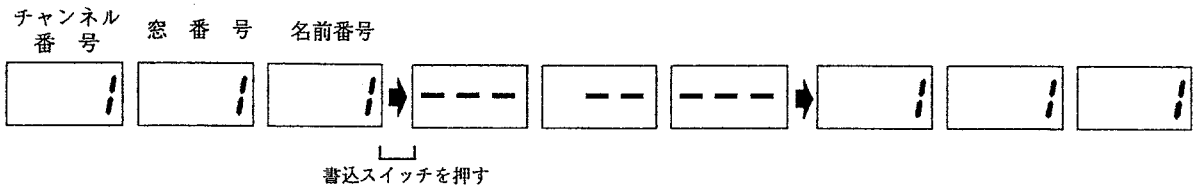
1）チャンネル表示部・窓番号表示部・名前番号表示部のLEDが点灯します。チャンネル番号「1」窓番号「1」名前番号「1」が表示されます。



2）チャンネル番号・窓番号・名前番号は各々の設定スイッチで設定します。（「＋」スイッチで1ずつ加算され、「－」スイッチで1ずつ減算されます）
1秒以上連続して押すと早送りになります。



3）書込スイッチを押すとチャンネル番号1、窓番号1、名前番号1が書込みされます。
（書込スイッチを押すことにより、表示部は下記のように変化し、登録が完了します。）



チャンネル番号は1～255、窓番号は1～30、名前番号は1～250まで設定できます。ただし、チャンネル番号、窓番号の0は設定できません。

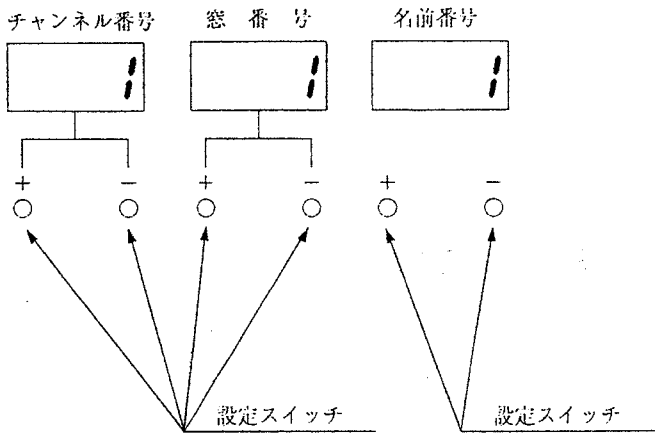
4）他の登録するデータについても1）～3）の操作を繰り返します。

5）最後に動作モードスイッチを「動作」にしますと、「待機中」表示が約10秒後消灯し、使用可能な状態になります。

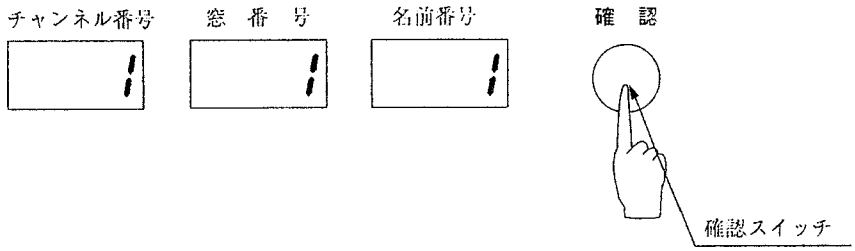
2. 登録データの確認方法

1) 信号スイッチ「出退」、テストモード「切」、動作モードスイッチ「確認」にします。この時「待機中」表示が点灯します。

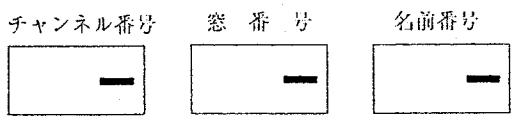
2) チャンネル番号・窓番号を各々の設定スイッチを押していくと対応した名前番号が表示されます。（「＋」スイッチで1ずつ加算され、「－」スイッチで1ずつ減算されます。）1秒以上連続して押すと早送りになります。（たとえばチャンネル番号「1」にて、窓番号の「＋」スイッチを押していくとその窓番号に対応した名前番号が表示されます。）



3) 名前番号からチャンネル番号・窓番号を確認する場合、名前番号設定スイッチで名前番号を設定し、確認スイッチを押すと対応したチャンネル番号と窓番号が次々と表示されます。



4) プログラムが全て消去されている時は下記のような表示になります。



3. 登録データを全て消去する方法

1) 伝送ユニットの信号スイッチを「呼出」、テストスイッチを「切」にし、動作モードスイッチを「書込」にします。

2) リセットスイッチと書込スイッチを同時に押し続けます。（約1秒間）
※チャンネル番号・窓番号・名前番号表示部が“0”フラッシングします。

3) 全てのチャンネル番号・窓番号・名前番号が消去されたことを確認します。

4) 信号スイッチを「出退」、テストモードスイッチを「切」、動作モードスイッチを「確認」にし、全てのデータが消去されているか確認して下さい。

4. 表示モードの選択方法

●表示モードスイッチを2モード側か4モード側にします。

●点灯モード選択スイッチで下表の1～4の表示順序を選択してください。

スイッチ ＼ 機器		操作器・表示器 4ﾓｰﾄﾞ表示盤 4ﾓｰﾄﾞ表示ユニット	2モード表示盤・2ﾓｰﾄﾞ表示ユニット	
			緑	赤
表示モードスイッチ → 2モード	1	緑 消	緑 消	消 消
	2	赤 消	消 消	赤 消
	3	橙 消	緑 消	赤 消
	4	－	－	－
表示モードスイッチ → 4モード	1	緑 赤 橙 消	緑 消 緑 消	消 赤 赤 消
	2	橙 赤 緑 消	緑 消 緑 消	赤 赤 消 消
	3	赤 緑 橙 消	消 緑 緑 消	赤 消 赤 消
	4	緑 赤 消	緑 消 消	消 赤 消

↑ 点灯モード選択スイッチ

注）表示モードスイッチを切換える時は、切換後、一度必ず信号スイッチを「呼出」にして再度「出退」にしてください。

5. データ登録終了後の操作

プログラム設定後にモード選択変更を行う場合、表示モード選択後に信号スイッチ「出退」、テストモードスイッチ「切」、動作モードスイッチ「動作」にして下さい。

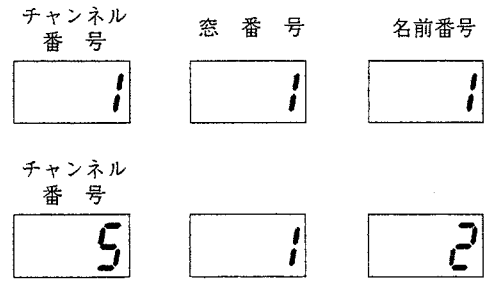
プログラムの修正方法

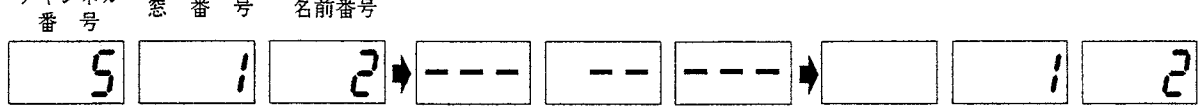
信号スイッチ「出退」、テストモードスイッチ「切」、動作モードスイッチを『書込』にします。待機中表示が点灯します。

1）チャンネル表示部・窓番号表示部・名前番号表示部のLEDが点灯します。

2）変更するチャンネル番号・窓番号を各々の設定スイッチで設定します。

3）書込スイッチを押すと書込が完了します。





1）～3）を繰り返します。

4）最後に動作モードスイッチを『動作』にします。

・一部のデータを消去するには、動作モードスイッチを『書込』にして該当チャンネル番号、窓番号に合せ、名前番号を「0」にして書込スイッチを押してください。該当データが消去されます。

・すべての記憶内容を消去するには、動作モードスイッチを『書込』にして信号スイッチを「呼出」、テストスイッチを「切」にしてから、リセットスイッチと書込スイッチを同時に押してください。消去されると、チャンネル番号、窓番号、名前番号表示部が“0”フラッシングします。

・プログラムの確認方法でチャンネル番号、窓番号、名前番号を確認した後にプログラム修正する場合、動作モードスイッチを「確認」→「書込」にすると修正ができます。登録データを確認しながら修正ができます。

6. エラー表示機能

伝送ユニット本体には、下記のエラー表示LEDがあります。

(1) 短絡　●信号線が短絡している間、LEDが点滅します。短絡がなくなれば自動消灯します。

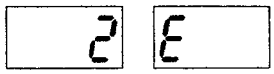
(2) 伝送エラー　●機器の不良時またはノイズにより信号が正しい形態になっていない場合、伝送エラー／LEDが点灯します。

●設定チャンネル重複時の場合、伝送エラー／LEDが点灯します。

(3) 返信無し　●信号線短絡時、断線時、機器不良時、操作器を電源断の時、プログラムしたチャンネル番号に機器が接続されていない場合に返信無しLEDが点灯します。

●不良個所を修正した後、リセットスイッチを押すとエラー表示が消えます。

■(2)、(3)の表示が出た場合、動作モードスイッチを「確認」にすると不良機器のチャンネル番号が表示されます。又確認スイッチを押すことにより、順次エラー対象のチャンネル番号が表示されます。



例）チャンネル番号「2」がトラブルであることを示します。

■信号線の配線状態、機器の状態を確認してください。

■ご注意事項

(1) 伝送ユニットの停電補償時間は満充電時、約800時間です。停電補償が切れた場合プログラムされたデータは消えますので再度データをインプットして下さい。満充電になるには48時間の通電が必要です。（停電補償が切れた場合、チャンネル番号・窓番号・名前番号表示部が“0”フラッシングし登録データが消去されます）

(2) 停電中は操作スイッチを操作しても受付けません。停電復旧後、停電前の表示状態にもどります。

(3) 次の状態の場合は、「待機中」LEDが点灯します。点灯中は操作スイッチを押しても受付けませんのでLEDが消灯してから操作器、表示器などの操作をしてください。

（イ）電源を投入した直後

（ロ）停電が復旧した直後

（ハ）信号スイッチを「出退」で、動作モードスイッチを「確認」又は「書込」にしている場合

（ニ）信号スイッチを「出退」で、動作モードスイッチを「確認」又は「書込」から「動作」にした直後

（ホ）信号スイッチを「出退」で、テストスイッチを「入」にした場合

（ヘ）信号スイッチを「出退」で、テストスイッチを「入」から「切」にした直後

※イ）、ロ）、ニ）、ヘ）の場合、しばらくすると待機中LEDが消灯します。

「待機中」LEDが点灯中は、信号は停止状態になります。

(4) 信号スイッチを「呼出」にすると出退表示操作器・表示器の表示部が消灯します。

信号スイッチを「出退」にすると出退表示は消灯の状態から動作ができます。

(5) 停電時、又は伝送ユニット組込制御盤の電源スイッチが800時間以内で「切」の場合は、全ての表示は消灯しますが、復旧後又は電源「入」後は元の表示になります。

(6) 接続機器のチャンネル設定を変更した場合や、新たに機器を追加、及び表示点灯モード変更の場合は、一度信号スイッチを「呼出」にし、再度「出退」にしてください。

(7) 出退表示の消灯忘れの場合、タイムスイッチで自動的に消灯させ、明朝全消灯状態からスタートします。

■呼出表示

呼出表示にはトイレ緊急呼出表示と警報呼出表示があります。

全てのモードで動作が可能です。

操作手順と動作内容を次に示します。

トイレ緊急呼出表示と警報呼出表示のモード設定は窓単位になっており、埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）（EDN447401K）のディップスイッチにておこないます。詳細はP.44をご覧ください。

操作手順と動作内容　表中の「埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）の"呼出入力"端子間」の開／閉は、呼出用押釦でおこないます。呼出用押釦とは、埋込プルスイッチ付押釦スイッチ、机下型操作器（個別用）（呼出表示用）、埋込型操作器（個別用）（呼出表示用）のことです。

用途		操作手順	表示盤(呼出表示用) 表示	表示盤(呼出表示用) ブザー	埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用） 表示	"外部出力"	"LED出力"の電圧
警報呼出表示	常時		消灯	止	消灯	開	なし
	使用中表示	埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）の操作スイッチを押す　《使用中表示》	橙点灯		橙点灯		
	呼出表示	①上記の"呼出入力"端子間を開く　《呼出表示》	赤点滅	鳴	赤点滅	閉	あり
		②表示盤（呼出表示用）の"ブザー停止"釦を押す　《確認中表示》	赤点灯	止			
		③埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）の操作スイッチを押す　《確認表示》	緑点灯		緑点灯	開	なし
		④表示盤（呼出表示用）の"復旧"釦を押す ＝"常時"　《一斉復旧》	"常時"と同じ				
トイレ緊急呼出表示		上記“常時”および“呼出表示（①～④）”と同じ					

説明）・動作は→の方向へ遷移することができる。
- "使用中表示"動作中に再度"使用中表示"の操作が入れば、"常時"へ戻る。
- ①は、"常時"、"使用中表示"のどちらの状態からでも優先的に割り込み動作をする。
- ②、③動作時に①の操作が入れば、①以降の動作をする。
- ①動作時に③を操作すると、③以降を動作する。
- ③、④は、埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）の"呼出入力"端子間が閉条件が必要。

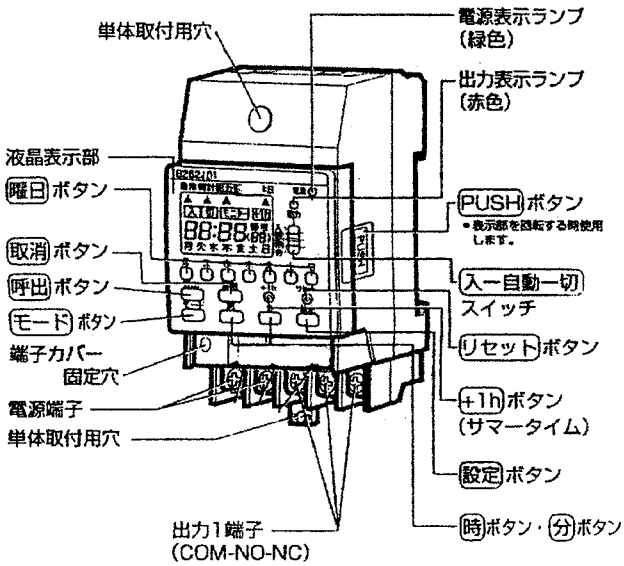
7. タイムスイッチの操作方法

このタイムスイッチは出退の表示の“入”“切”を自動的におこないます。

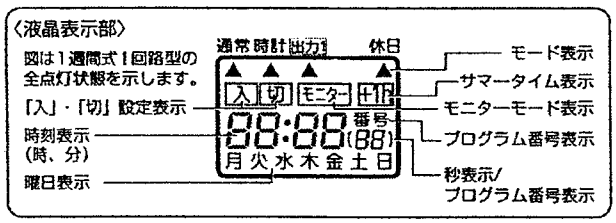
又、曜日選択スイッチにより、休日等動作が不要の曜日を自動的に“切”にすることもできます。

各部のなまえ

〈表面〉



〈液晶表示部〉



ご使用前に（モードについて）

時計合わせやプログラムの設定をするためには、「モード」を選ぶことが必要です。

ポイント

モードの種類と機能

液晶表示部の上側の▲マークが、今どの「モード」にあるかを示します。

モード ボタンを押すたびに次のようにモードが変わります。

モード		モードの説明
「通常」モード	通常 ▲	通常の運転状態です。モニター動作ができます。
「時計」モード	時計 ▲	時計合わせを行います。
「出力1」モード	出力1 ▲	「出力1」のプログラムの設定、確認、変更、取消しを行います。
「休日」モード	休日 ▲	休日（運転停止日）の設定、確認、変更、取消しを行います。

ご注意

- 「通常」モード以外のモードで5分間放置された場合、自動的に「通常」モードとなります。

定格一覧

品番		TB262101
周期		1週間式
定格操作電圧		AC100－240V共用
定格周波数		50Hz／60Hz共用
駆動方式		全電子式（水晶発振式）
消費電力		AC100V 1W、AC200V 2W
時刻表示方式		曜日・時・分・秒デジタル表示（液晶表示）
通電・表示方式		通電表示→緑LED表示、出力表示→赤LED表示
設定	最小単位	1分
	最小間隔	1分
	プログラム数	30プログラム（1日最大入／切 15セット可能）
付加機能	モニター機能	有（短時間で実際のプログラム通り動作確認が可能）
	無通電セット機能	有（停電中でも液晶表示し、施工時にプログラムセットできます。）
	休日設定機能	有（向こう1週間分）
	サマータイム機能	有（サマータイムに合わせて、ワンタッチで現在時刻を1時間シフトできます）
停電補償時間		20℃で10年間（リチウム電池内蔵）
時間精度		±15秒／月（25℃にて）
使用周囲温度、湿度		－10℃～＋50℃、85%以下
質量		180g

時計精度について

時計精度は、温度の影響をうけます。

25℃一定のもとで±15秒/月に調整されていますが、25℃に対して温度が高くなっても低くなっても時計は遅れる方向にずれます。

例えば50℃一定や0℃以下で使用した場合、1分/月以上の遅れとなります。

寿命について

正常な環境下での平均寿命は次のとおりです。

- 接点開閉数　5万回（抵抗負荷：AC250V、15A）
- 使用期間　5年　（温度25℃、相対湿度65%）

上記のいずれかに表したときは新品に交換されることをおすすめします。

また、寿命は内部の電子回路の特性により高温になるほど短くなります。

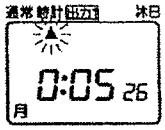
ご注意

- 停電補償用電池はご購入時点より10年間連続停電分の容量がありますが、10年の電池寿命を保証するものではありません。

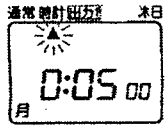
時計の合わせ方

【例】金曜日の午後3時34分に合わせる場合

1 モードボタンを押して、▲マークを「時計」に合わせる。



2 設定ボタンを押して、0秒合わせをする。
秒の表示が「00」になります。



3 時、分、曜日ボタンで時刻、曜日を合わせる。
時、分ボタンを押し続けると早送りできます。

4 設定が終われば、モードボタンを押して▲マークを「通常」の位置に戻す。

プログラムの設定

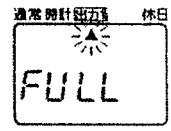
【例】出力1（または出力2）の回路に「8：30 入 ～17：15 切」・「月曜～金曜に運転」のプログラムを設定する場合

1 モードボタンを押して、▲マークを「出力1（または出力2）」に合わせる。
「入時刻」の設定画面になります。

2 時、分、曜日ボタンで「入時刻」を選び、設定ボタンを押す。
「切時刻」の設定画面になります。

3 時、分、曜日ボタンで「切時刻」を選び、設定ボタンを押す。
次の「入時刻」の設定画面になります。

4 続けて設定する場合は 2．3 をくり返す。
最大30個まで設定できます。
その場合「FULL」が表示されます。



5 設定が終われば、モードボタンを押して▲マークを「通常」の位置に戻す。

プログラムの確認、変更、取消し

【例】設定したプログラムを確認する場合

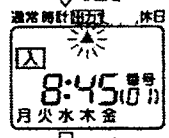
1 モードボタンを押して、▲マークを「出力1」に合わせる。

2 呼出ボタンを押すたびに、プログラムが番号順に1つずつ表示されます。

⇩変更

呼出したプログラムを変更する場合

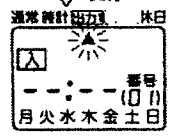
時、分、曜日ボタンで上書きし、設定ボタンを押す。
次のプログラムが表示されます。



⇩取消

呼出したプログラムを取消す場合

取消ボタンを押す。
「--:--」となります。



3 呼出しを続けると最後に「End」が表示されます。

4 確認、変更、取消しが終われば モードボタンを押して▲マークを「通常」の位置に戻す。

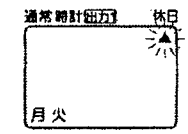
休日の設定

ポイント
1週間式は休日の設定ができます。
休日に設定された曜日は、「入」のプログラムがキャンセルされます。
休日が過ぎれば、休日設定は自動的に解除されます。

【例】次の月曜、火曜を休日に設定する場合

1 モードボタンを押して、▲マークを「休日」に合わせる。
曜日が全て点滅します。

2 曜日ボタンで休日にする曜日を選び、設定ボタンを押す。



3 モードボタンを押して、▲マークを「通常」の位置に戻す。
「休日」の▲マークが点灯し、休日が設定されたことを表示します。

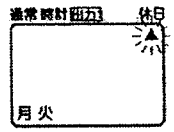
ご注意
- 休日は、設定日を含む向こう1週間分指定できます。
- 休日当日は、その曜日と「休日」の▲マークが点滅します。

休日の確認、変更、取消し

【例】設定した休日を確認する場合

1 モードボタンを押して、▲マークを「休日」に合わせる。

休日が表示されます。

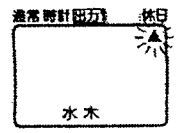


⇩変更

休日を変更する場合

曜日ボタンで変更し、設定ボタンを押す。

(右図は月、火の休日を水、木に変更した場合です。)



⇩取消

休日を取消す場合

取消ボタンを押す。

曜日が全て点滅し、休日が取消されます。

2 確認、変更、取消しが終われば、モードボタンを押して▲マークを「通常」の位置に戻す。

入一自動一切スイッチの操作方法

連続入／切動作

ポイント 入一自動一切スイッチで、手動入／切ができます。

「入」……プログラムに関係なく連続入

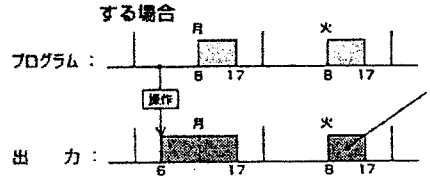
「切」……プログラムに関係なく連続切

「自動」……プログラム通りの出力をします。

モーメンタリー動作(一時入/切)

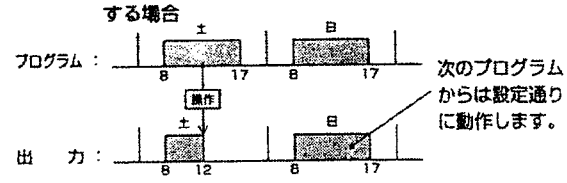
ポイント 入一自動一切スイッチを一旦「入」にした後、「自動」にすると、次の「切」時刻まで「入」の状態を保持します。

【使用例】月曜日が、早朝から始業で、定刻より早く運転を開始する場合



ポイント 入一自動一切スイッチを一旦「切」にした後、「自動」にすると、次の「入」時刻まで「切」の状態を保持します。

【使用例】土曜日に、午後から休業で、定刻より早く運転を終了する場合



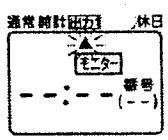
その他の機能

モニター機能(プログラムのシミュレーション)

ポイント 現在時刻以降の入／切時刻を、実際の動作時刻順に表示することができます。

1 「通常」モードで、呼出ボタンを2秒以上押し続ける。

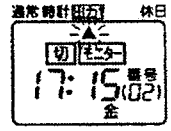
モニターが表示され、「－－:－－」となります。



2 呼出ボタンを押すたびに、動作時刻が1つずつ表示されます。

呼出ボタンを押し続けると、早送りされます。

3 最後に「End」が表示されます。



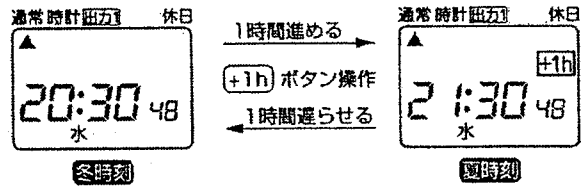
4 「通常」モードに戻るときは、取消ボタンを押す。

ご注意

- 1週間分の モニターができます。
- 休日が設定されている場合は、休日の動作内容に従いモニターされます。

サマータイム(+1h)

ポイント +1hボタンの1押し毎に"冬時刻"←→"夏時刻"の切替えを行ないます。



※+1hボタンは、「通常」モードと「時計」モードで有効です。

リセット

ポイント リセットボタンを押すと、設定内容が全て取り消されます。

・4秒間の全点灯表示後「00 00 00」が点滅します。

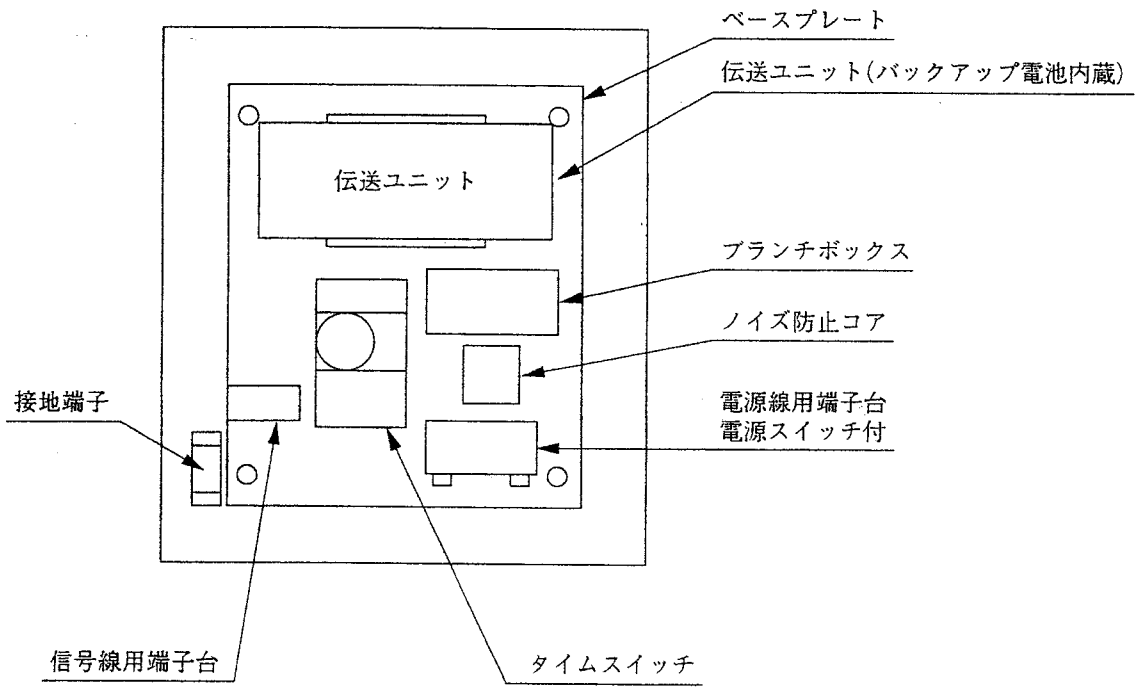
・リセットボタン以外のいずれかのボタンを押すと「通常」モードとなり、「0:00 00」から時計がスタートします。

ご注意

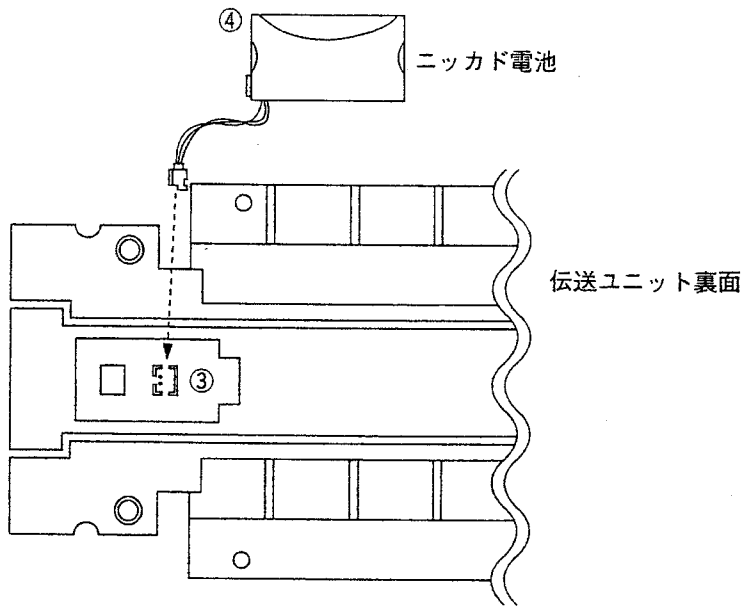
- リセットボタンは、次の場合以外は使用しないでください。
  - ■ おかしな表示が出た場合
  - ■ 設定した内容を全て取消したい場合

伝送ユニット組込制御盤のバックアップ電池の交換方法

伝送ユニット内部に、メモリーのバックアップ電池（800時間停電補償、満充電時）が入っています。このバックアップ電池は納入後３年を経過しますと、性能が下がります。３年ごとに交換してください。



① 伝送ユニットをベースプレートからはずしてください。
② 伝送ユニットの裏面のカバーをはずしてください。
③ 伝送ユニット裏面のニッカド電池収納フタを取り、電池を抜き取ってください。
④ 交換用電池をポストに差し込み収納後、収納フタをしてください。

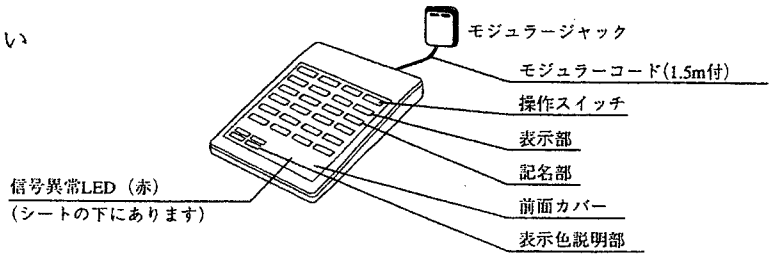


Ni-Cd この器具には、ニッカド電池を使用しております。ニッカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済の電池はリサイクルへご協力ください。

卓上型操作器（24窓）（EDN494124）の取扱方法

■各部の名称

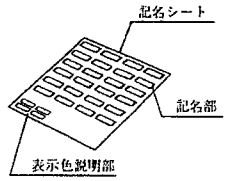
●各窓に表示部と操作スイッチがついています。

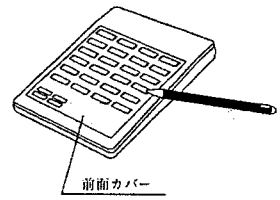


■記名部の記入方法

●シャープペンシルまたはボールペンの先などで前面カバーをあけてください。

●記名シートを取り出して該当部分に、ボールペンなどで記入します。

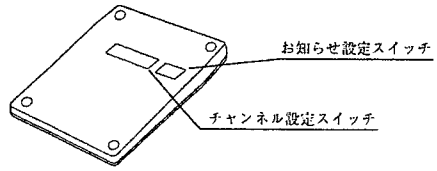




●前面カバーは手で曲げながら引掛部分に差し込んで固定します。

■チャンネル（機器）番号・お知らせ設定の合せ方（P.54 “プログラム設定手順書”も参照してください）

●本体底面のチャンネルスイッチで合わせます。



●チャンネル（機器）設定スイッチ（1～120、128、160～255チャンネル設定可能）
1側に設定されている番号の和がチャンネル番号になります。

●お知らせ設定スイッチ

A＝1側：表示変化時に表示部が5秒間点滅します。
0側：点滅なし。
B＝1側：表示変化時に電子音が0.5秒間鳴動します。
0側：鳴動なし。

■操作方法

●操作釦を押すたびに、表示部の色が、緑→赤→橙→消灯をくり返します。（表示順序は点灯モードにより異なります。詳しくは本書P.14の“伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）の取扱方法”をご参照ください。）

●この表示部と連動して、各表示器、表示盤の同じ名前部分が点灯します。

■ご注意

●表示窓数が24名以上必要な場合は2台（48名分）、3台（72名分）と並べて設置、使用できます。又、28名の場合は、EDN494128をご使用下さい。

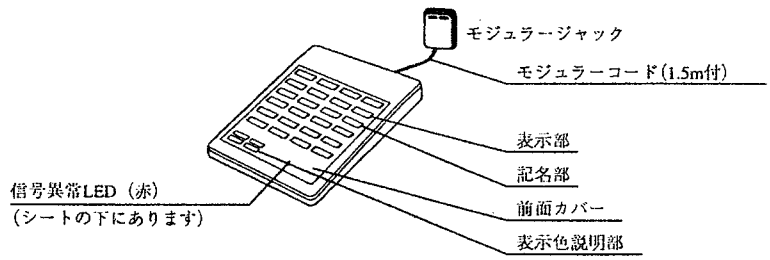
●チャンネル（機器）番号の設定は、本機器及び伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えます（0.5秒程度）が、異常ではありません。伝送ユニット組込制御盤（L型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。（お知らせ機能をご使用の場合は表示復帰時に表示部が5秒間点滅し、電子音が0.5秒鳴動します。）

卓上型表示器（24窓）（EDN594124）の取扱方法

■各部の名称

●各窓に表示部がついています。

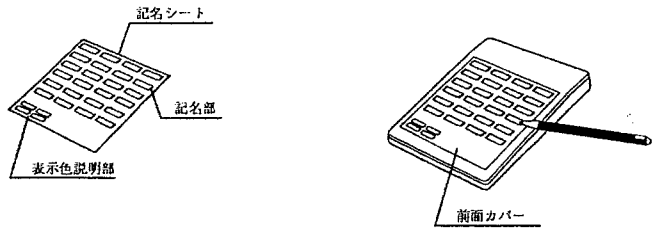


■記名部の記入方法

●シャープペンシルまたはボールペンの先などで前面カバーをあけてください。

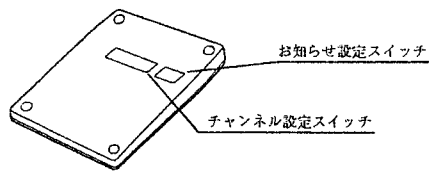
●記名シートを取り出して該当部分に、ボールペンなどで記入します。

●前面カバーは手で曲げながら引掛部分に差し込んで固定します。



■チャンネル（機器）番号・お知らせ設定の合せ方（P.54 “プログラム設定手順書”も参照してください）

●本体底面のチャンネルスイッチで合わせます。



●チャンネル（機器）設定スイッチ（1～120、128、160～255チャンネル設定可能）
1側に設定されている番号の和がチャンネル番号になります。

●お知らせ設定スイッチ

A＝1側：表示変化時に表示部が5秒間点滅します。
0側：点滅なし。

B＝1側：表示変化時に電子音が0.5秒間鳴動します。
0側：鳴動なし。

■ご注意

●表示窓数が24名以上必要な場合は2台（48名分）、3台（72名分）と並べて設置、使用できます。
又、28名の場合は、EDN494128をご使用下さい。

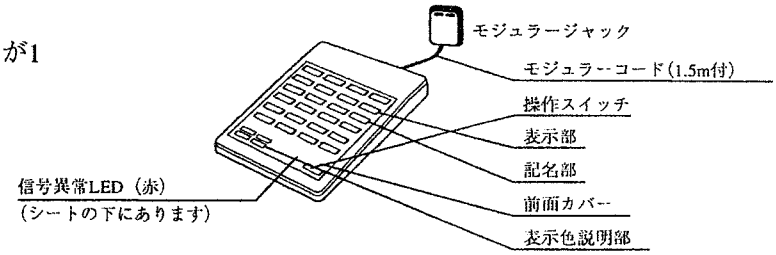
●チャンネル（機器）番号の設定は、本機器及び伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えます（0.5秒程度）が、異常ではありません。伝送ユニット組込制御盤（L型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。（お知らせ機能をご使用の場合は表示復帰時に表示部が5秒間点滅し、電子音が0.5秒鳴動します。）

卓上型操作器（個別用）（24窓表示器付）（EDN694124）の取扱方法

■各部の名称

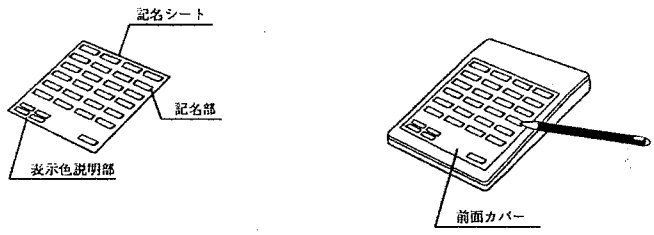
●卓上型表示器に個人用操作スイッチが1個ついています。



■記名部の記入方法

●シャープペンシルまたは、ボールペンの先などで前面カバーをあけてください。

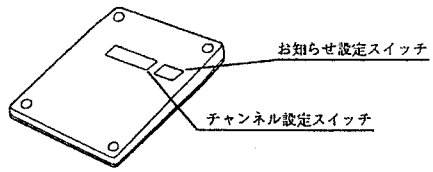
●記名シートを取り出して該当部分に、ボールペンなどで記入します。



●前面カバーは手で曲げながら引掛部分に差し込んで固定します。

■チャンネル（機器）番号・お知らせ設定の合せ方（P.54“プログラム設定手順書”も参照してください）

●本体底面のチャンネルスイッチで合わせます。



●チャンネル（機器）設定スイッチ（1～120、128、160～255チャンネル設定可能）
1側に設定されている番号の和がチャンネル番号になります。

●お知らせ設定スイッチ

A＝1側：表示変化時に表示部が5秒間点滅します。
0側：点滅なし。
B＝1側：表示変化時に電子音が0.5秒間鳴動します。
0側：鳴動なし。

■操作方法

●操作釦を押すたびに、表示部の色が、緑→赤→橙→消灯をくり返します。（表示順序は点灯モードにより異なります。詳しくは本書P.14の“伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）の取扱方法”をご参照ください。）

●この表示部と連動して、各表示器、表示盤の同じ名前番号の表示部が点灯します。

■ご注意

●表示窓数が24名以上必要な場合は卓上型表示器（24窓）（EDN594124）等と並用してください。

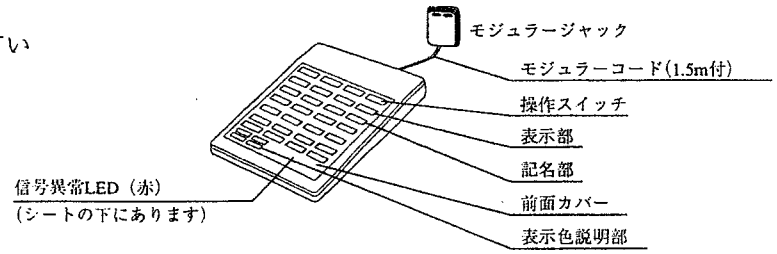
●チャンネル（機器）番号の設定は、本機器及び伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えます（0.5秒程度）が、異常ではありません。伝送ユニット組込制御盤（L型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。（お知らせ機能をご使用の場合は表示復帰時に表示部が5秒間点滅し、電子音が0.5秒鳴動します。）

卓上型操作器（28窓）（EDN494128）の取扱方法

■各部の名称

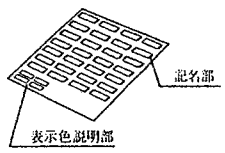
●各窓に表示部と操作スイッチがついています。

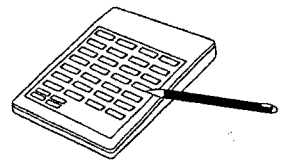


■記名部の記入方法

●シャープペンシルまたはボールペンの先などで前面カバーをあけてください。

●記名シートを取り出して該当部分に、ボールペンなどで記入します。

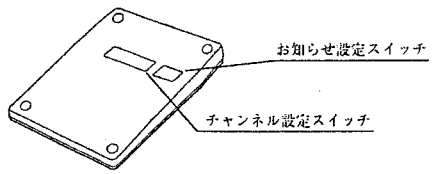




●前面カバーは手で曲げながら引掛部分に差し込んで固定します。

■チャンネル（機器）番号・お知らせ設定の合せ方（P.54 “プログラム設定手順書”も参照してください）

●本体底面のチャンネルスイッチで合わせます。



●チャンネル（機器）設定スイッチ（1～120、128、160～255チャンネル設定可能）
1側に設定されている番号の和がチャンネル番号になります。

●お知らせ設定スイッチ

A＝1側：表示変化時に表示部が5秒間点滅します。
0側：点滅なし。

B＝1側：表示変化時に電子音が0.5秒間鳴動します。
0側：鳴動なし。

■操作方法

●操作釦を押すたびに、表示部の色が、緑→赤→橙→消灯をくり返します。（表示順序は点灯モードにより異なります。詳しくは本書のP.14の“伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）の取扱方法”をご参照ください。）

●この表示部と連動して、各表示器、表示盤の同じ名前番号の表示部が点灯します。

■ご注意

●表示窓数が28名以上必要な場合は2台（56名分）、3台（84名分）と並べて設置、使用できます。

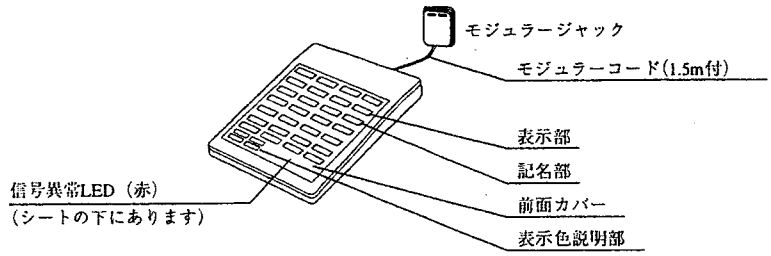
●チャンネル（機器）番号の設定は、本機器及び伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えます（0.5秒程度）が、異常ではありません。伝送ユニット組込制御盤（L型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。（お知らせ機能をご使用の場合は表示復帰時に表示部が5秒間点滅し、電子音が0.5秒鳴動します。）

卓上型表示器（28窓）（EDN594128）の取扱方法

■各部の名称

●表示部がついています。

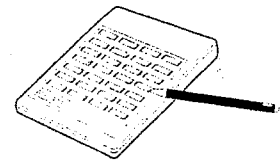


■記名部の記入方法

●シャープペンシルまたはボールペンの先などで前面カバーをあけてください。

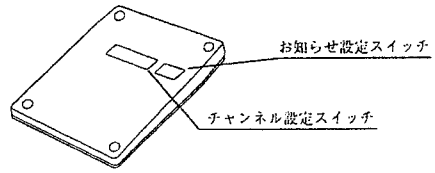
●記名シートを取り出して該当部分に、ボールペンなどで記入します。

●前面カバーは手で曲げながら引掛部分に差し込んで固定します。



■チャンネル（機器）番号・お知らせ設定の合せ方（P.54 “プログラム設定手順書”も参照してください）

●本体底面のチャンネルスイッチで合わせます。



●チャンネル（機器）設定スイッチ（1～120、128、160～255チャンネル設定可能）
1側に設定されている番号の和がチャンネル番号になります。

●お知らせ設定スイッチ

A＝1側：表示変化時に表示部が5秒間点滅します。
0側：点滅なし。

B＝1側：表示変化時に電子音が0.5秒間鳴動します。
0側：鳴動なし。

■ご注意

●表示窓数が28名以上必要な場合は2台（56名分）、3台（84名分）と並べて設置、使用できます。

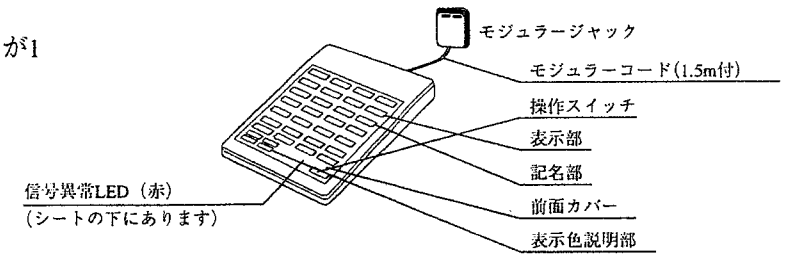
●チャンネル（機器）番号の設定は、本機器及び伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えます（0.5秒程度）が、異常ではありません。伝送ユニット組込制御盤（L型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。（お知らせ機能をご使用の場合は表示復帰時に表示部が5秒間点滅し、電子音が0.5秒鳴動します。）

卓上型操作器（個別用）（28窓表示器付）（EDN694128）の取扱方法

■各部の名称

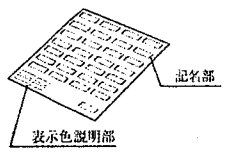
●卓上型表示器に個人用操作スイッチが1個ついています。

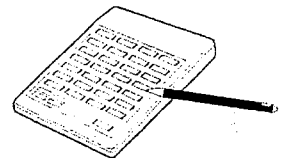


■記名部の記入方法

●シャープペンシルまたは、ボールペンの先などで前面カバーをあけてください。

●記名シートを取り出して該当部分に、ボールペンなどで記入します。

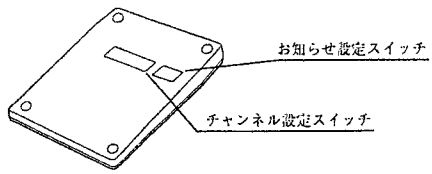




●前面カバーは手で曲げながら引掛部分に差し込んで固定します。

■チャンネル（機器）番号・お知らせ設定の合せ方（P.54 “プログラム設定手順書”も参照してください）

●本体底面のチャンネルスイッチで合わせます。



●チャンネル（機器）設定スイッチ（1～120、128、160～255チャンネル設定可能）
1側に設定されている番号の和がチャンネル番号になります。

●お知らせ設定スイッチ

A＝1側：表示変化時に表示部が5秒間点滅します。
0側：点滅なし。
B＝1側：表示変化時に電子音が0.5秒間鳴動します。
0側：鳴動なし。

■操作方法

●操作釦を押すたびに、表示部の色が、緑→赤→橙→消灯をくり返します。（表示順序は点灯モードにより異なります。詳しくは本書P.14の“伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）の取扱方法”をご参照ください。）

●この表示部と連動して、各表示器、表示盤の同じ名前番号の表示部が点灯します。

■ご注意

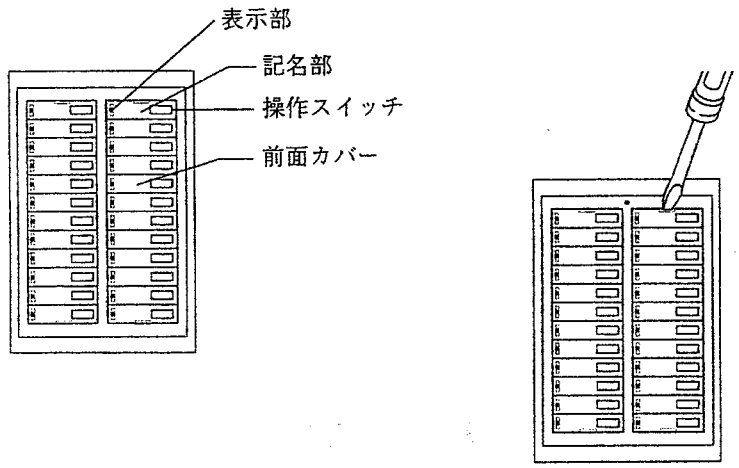
●表示窓数が28名以上必要な場合は卓上型表示器（28窓）（EDN594128）等と並用してください。

●チャンネル（機器）番号の設定は、本機器及び伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）の電源を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えます（0.5秒程度）が、異常ではありません。伝送ユニット組込制御盤（L型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。（お知らせ機能をご使用の場合は表示復帰時に表示部が5秒間点滅し、電子音が0.5秒鳴動します。）

壁掛型操作器（24窓）（EDN494324）の取扱方法

■各部の名称



■記名部の記入方法

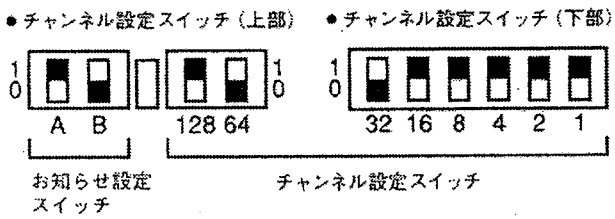
●前面カバーをあけてください。

●記名シートを取り出して該当部分に、ボールペンなどで記入します。

●前面カバーは「パチン」と音がするところまで押しつけてとりつけてください。
（下部を入れてから、上部を押しつけてください。）

■チャンネル（機器）番号・お知らせ設定の合せ方（P.54 “プログラム設定手順書” も参照してください）

●左側の前面カバーと記名シートを取り外し、二ヶ所にわかれたチャンネル設定スイッチで合せます。



●チャンネル（機器）設定スイッチ（1～120、128、160～255チャンネル設定可能）
1側に設定されている番号の和がチャンネル番号になります。
（例　1＋2＋4＋8＋16＋128＝159）

●お知らせ設定スイッチ

A＝1側：表示変化時に表示部が5秒間だけ点滅します。
0側：点滅なし。
B＝1側：表示変化時に電子音が0.5秒間鳴動します。
0側：鳴動なし。

■操作方法

●操作スイッチを押すたびに、表示部の色が、緑→赤→橙→消灯をくり返します。（表示順序は点灯モードにより異なります。詳しくは本書P.14の “伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）の取扱方法” をご参照ください。）

●この表示部と連動して、各表示器、表示盤の同じ名前番号の表示部が点灯します。

■ご注意

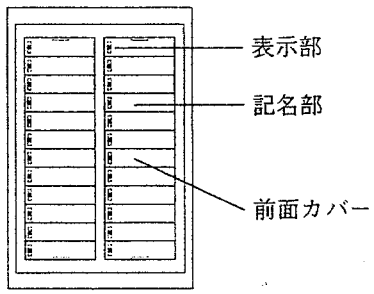
●表示窓数が24名以上必要な場合は2台（48名分）、3台（72名分）と並べて設置、使用できます。

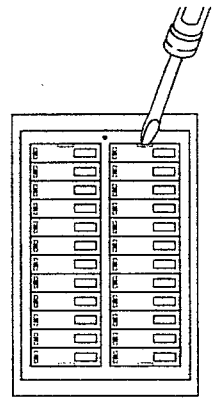
●チャンネル（機器）番号の設定は、本機器及び伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えます（0.5秒程度）が、異常ではありません。伝送ユニット組込制御盤（L型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。（お知らせ機能をご使用の場合は表示復帰時に表示部が5秒間点滅し、電子音が0.5秒鳴動します。）

壁掛型表示器（24窓）（EDN594324）の取扱方法

■各部の名称





■記名部の記入方法

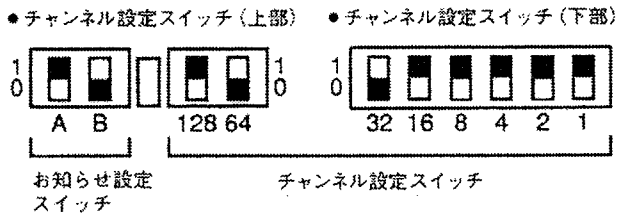
●前面カバーをあけてください。

●記名シートを取り出して該当部分に、ボールペンなどで記入します。

●前面カバーは「パチン」と音がする所まで押しつけて取り付けてください。
（下部を入れてから、上部を押しつけてください。）

■チャンネル（機器）番号・お知らせ設定の合せ方（P.54 “プログラム設定手順書”も参照してください）

●左側の前面カバーと記名シートを取り外し、二ヶ所にわかれたチャンネル設定スイッチで合せます。



●チャンネル（機器）設定スイッチ（1～120、128、160～255チャンネル設定可能）
1側に設定されている番号の和がチャンネル番号になります。
（例　1＋2＋4＋8＋16＋128＝159）

●お知らせ設定スイッチ

A＝1側：表示変化時に表示部が5秒間だけ点滅します。
0側：点滅なし。
B＝1側：表示変化時に電子音が0.5秒間鳴動します。
0側：鳴動なし。

■ご注意

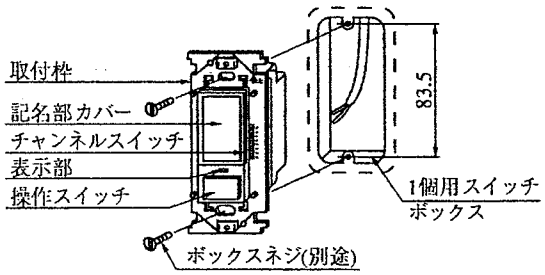
●表示窓数が24名以上必要な場合は2台（48名分）、3台（72名分）と並べて設置、使用できます。

●チャンネル（機器）番号の設定は、本機器及び伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

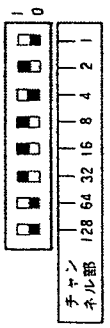
●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えます（0.5秒程度）が、異常ではありません。伝送ユニット組込制御盤（L型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。（お知らせ機能をご使用の場合は表示復帰時に表示部が5秒間点滅し、電子音が0.5秒鳴動します。）

埋込型操作器（個別用）（EDN494401）の取扱方法

■各部の名称

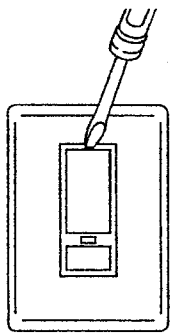


■チャンネル（機器）番号の合せ方
（P.54“プログラム設定手順書”も参照してください）



1～120、128、160～255チャンネル（機器）番号まで設定可能。
1側に設定されている番号の和がチャンネル（機器）番号になります。
例　32＋16＋8＋2＝58

■記名部の記入方法



(－)ドライバー等であけてください。

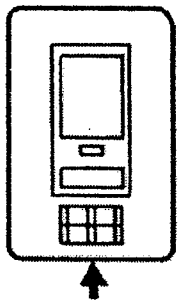
●記名シートにボールペン等で記入してください。

■操作方法

●操作スイッチを押すたびに表示部の色が、緑→赤→橙→消灯をくり返します。（4モード表示の場合）
●表示順序は伝送ユニットの点灯モード（動作モード）により異なります。詳しくは本書P.14の“伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）の取扱方法”をご参照ください。
●この表示部と連動して、各表示器、表示盤の同じ名前番号の表示部が点灯します。

■ご注意

●4モードで使用する場合は表示色説明シールを新金属プレートに貼ってください。



表示色説明シール

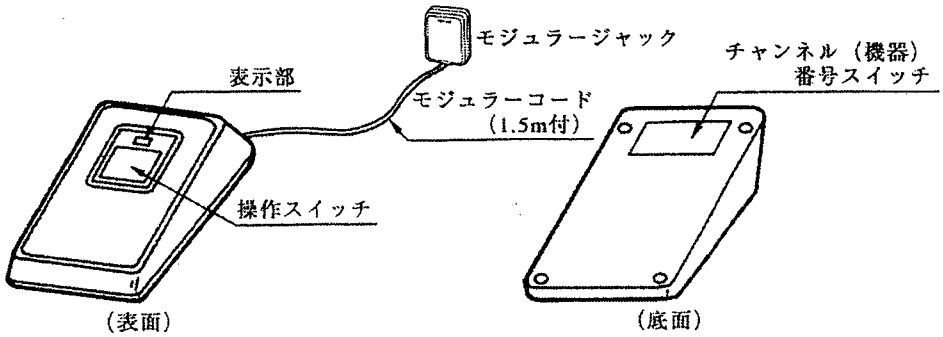
－記入例－

緑	在席	赤	会議
橙	出張	消	退社

●チャンネル（機器）番号の設定は、伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。
●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えますが、異常ではありません。伝送ユニット組込制御盤（L型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。

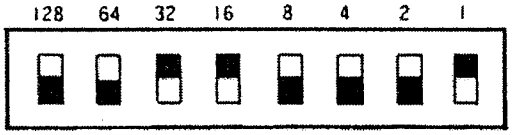
卓上型操作器（個別用）（EDN494101）の取扱方法

■各部の名称



■チャンネル（機器）番号の合せ方（P.54 “プログラム設定手順書”も参照してください）

本体底面のチャンネル（機器）設定スイッチで合せます。



1～120、128、160～255チャンネル(機器)番号まで設定可能

1側に設定されている番号の和がチャンネル（機器）番号になります。

例　32＋16＋1＝49

■操作方法

●操作スイッチを押すたびに表示部の色が、緑→赤→橙→消灯をくり返します。（4モード表示の場合）

●表示順序は伝送ユニットの点灯モード（動作モード）により異なります。詳しくは本書P.14の“伝送ユニット組込制御盤（L型）（END71301K）の取扱方法”をご参照ください。

●この表示部と連動して、各表示器、表示盤の同じ名前番号の表示部が点灯します。

■ご注意

●4モードで使用する場合は表示色説明シールを側面に貼ってください。

－記入例－

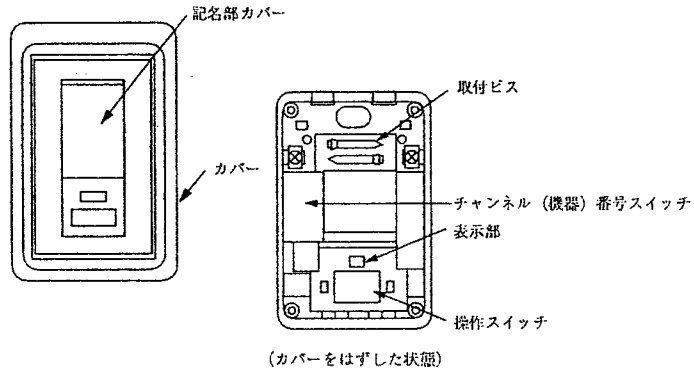
緑	在席	赤	会議
橙	出張	消	退社

●チャンネル（機器）番号の設定は、伝送ユニット組込制御盤（L型）（END71301K）を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えますが、異常ではありません。伝送ユニット組込制御盤（L型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。

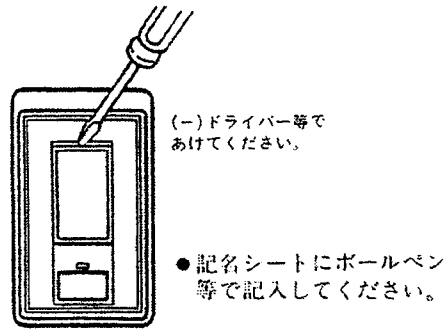
露出型操作器（個別用）（EDN494201）の取扱方法

■各部の名称

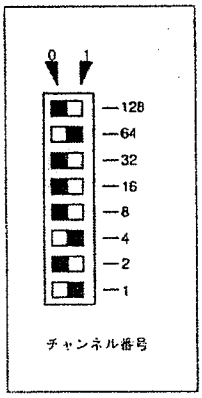


（カバーをはずした状態）

■記名部の記入方法



■チャンネル（機器）番号の合せ方（P.54 “プログラム設定手順書”も参照してください）



1側に設定されている番号の和がチャンネル（機器）番号になります。
例　64＋4＋1＝69
（1～120、128、160～255チャンネル設定可能）

■操作方法

●操作スイッチを押すたびに表示部の色が、緑→赤→橙→消灯をくり返します。（4モード表示の場合）

●表示順序は伝送ユニットの点灯モード（動作モード）により異なります。詳しくは本書P.14の“伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）の取扱方法”をご参照ください。

●この表示部と連動して、各表示器、表示盤の同じ名前番号の表示部が点灯します。

■ご注意

●4モードでご使用になる場合、表示説明シールをプレートに貼ってください。

－記入例－

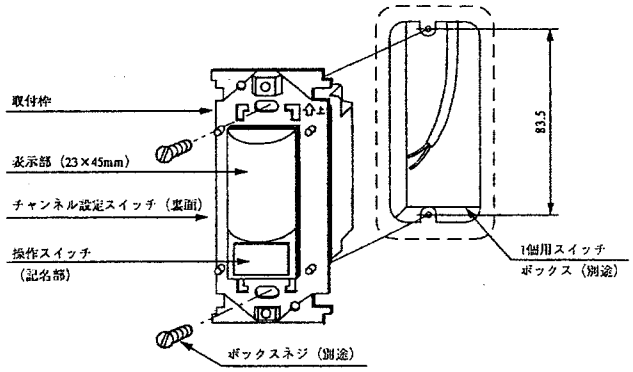
緑	在席	赤	会議
橙	出張	消	退社

●チャンネル（機器）番号の設定は、伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

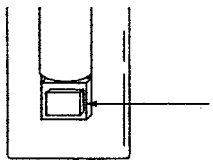
●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えます（0.5秒程度）が、異常ではありません。伝送ユニット組込制御盤（L型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。

埋込型表示ランプ（スイッチ付）（EDN494601）の取扱方法

■各部の名称



■記名部の記入方法

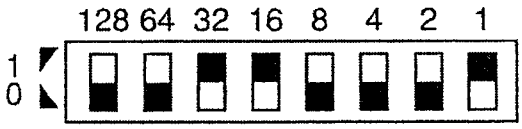


●スイッチカバーをひっぱってはずしてください。
●記名シールにボールペンなどで記入してください。

■チャンネル（機器）番号の合わせ方（P.54 “プログラム設定手順書”も参照してください）

(1)チャンネル設定

※裏面のチャンネル（機器）設定スイッチであわせます。



●「1」側に設定されている番号の和がチャンネル番号になります。上記の例では、32＋16＋1＝49となります。
●（1～120、128、160～255まで可能）

■操作方法

(1) 操作スイッチを押すたびに表示部の色が緑→赤→橙→消灯をくり返します。（4モード表示の場合）表示順序は伝送ユニットの点灯モード（動作モード）により異なります。詳しくは本書P.14の“伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）の取扱方法”をご参照ください。

(2) この表示部と連動して各表示器、表示盤の同じ名前番号の表示部が、点灯します。

■ご注意

●4モードでご使用になる場合、付属の表示説明シールをプレートに貼ってください。

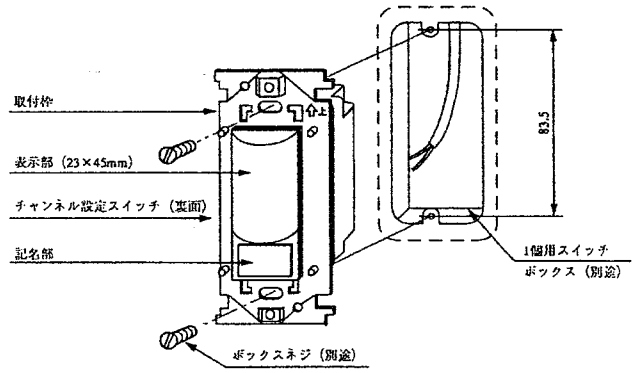
－記入例－

緑	在席	赤	会議
橙	出張	消	退社

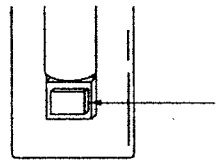
●チャンネル（機器）番号の設定は、伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。
●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えますが、異常ではありません。伝送ユニット組込制御盤（L型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。

埋込型表示ランプ（スイッチなし）（EDN594601）の取扱方法

■各部の名称



■記名部の記入方法

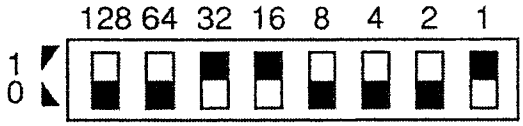


●カバーをひっぱってはずしてください。
●記名シールにボールペンなどで記入してください。

■チャンネル（機器）番号の合わせ方（P.54“プログラム設定手順書”も参照してください）

(1) チャンネル設定

※裏面のチャンネル設定スイッチであわせます。



- 「1」側に設定されている番号の和がチャンネル番号になります。上記の例では、32＋16＋1＝49となります。
- （1～120、128、160～255まで可能）

■操作方法

他の機器の同じ名前番号の操作器が操作されるたびに、表示部の点灯色が緑→赤→橙→消灯をくり返します。（4モード表示の場合）表示順序は伝送ユニットの点灯モード（動作モード）により異なります。詳しくは本書P.14の“伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）の取扱方法”をご参照ください。

■ご注意

●4モードでご使用になる場合、付属の表示説明シールをプレートに貼ってください。

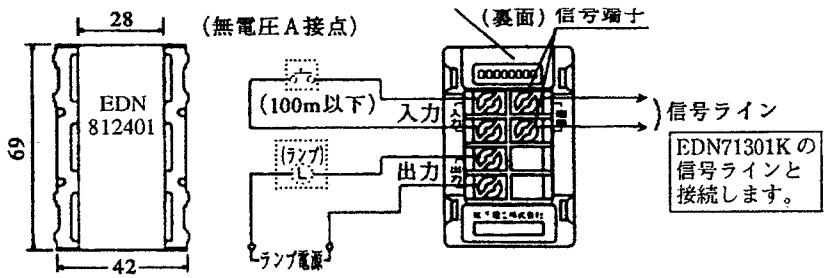
－記入例－

緑	在席	赤	会議
橙	出張	消	退社

- チャンネル（機器）番号の設定は、伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。
- 瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えますが、異常ではありません。伝送ユニット組込制御盤（L型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。

1入力1出力端末器（EDN812401）の取扱方法

■各部の名称



■操作方法

(1) 入力端子に入力されたときの動作

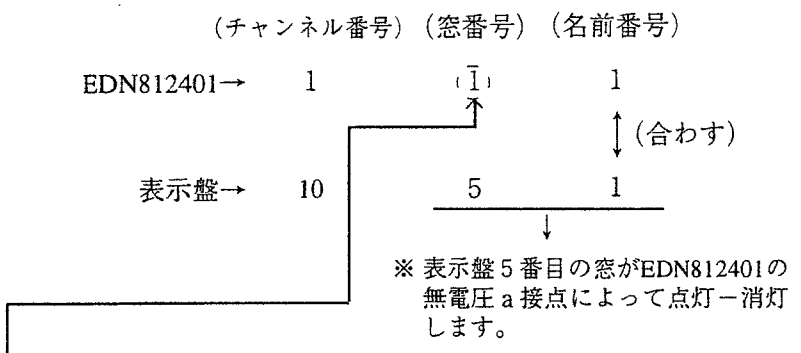
●無電圧a接点

●表示盤

（2モード、4モード共）＝（緑色点灯）

【ご注意】

●本器と表示盤の名前番号設定を同一にして、EDN71301Kのコントローラに登録します。



●本器の窓番号は必ず入力端子を「1」としてください。

●表示盤が4モードで動作している時でも、5番目の窓のみ〈緑－消灯〉となります。

●「緑」をふくまない表示パターンでの使用はできません。

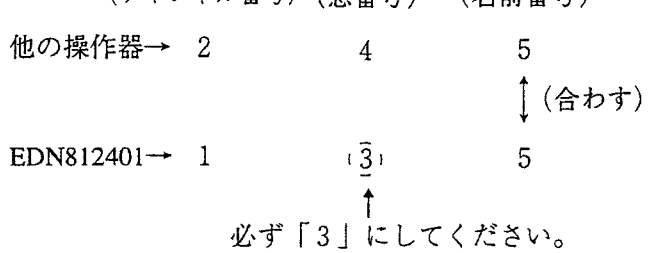
(2) 出力端子の動作

●本器の信号ラインに接続されているほかの操作器の表示色。（2モード、4モード共）

●出力端子の接点の状態

【ご注意】

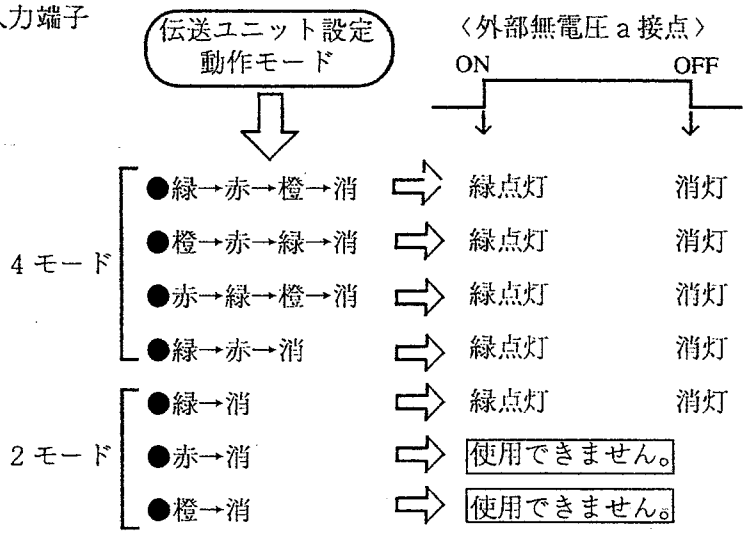
●他の操作器の名前番号と本器の名前番号を同一にしてEDN71301Kの伝送ユニットに登録します。



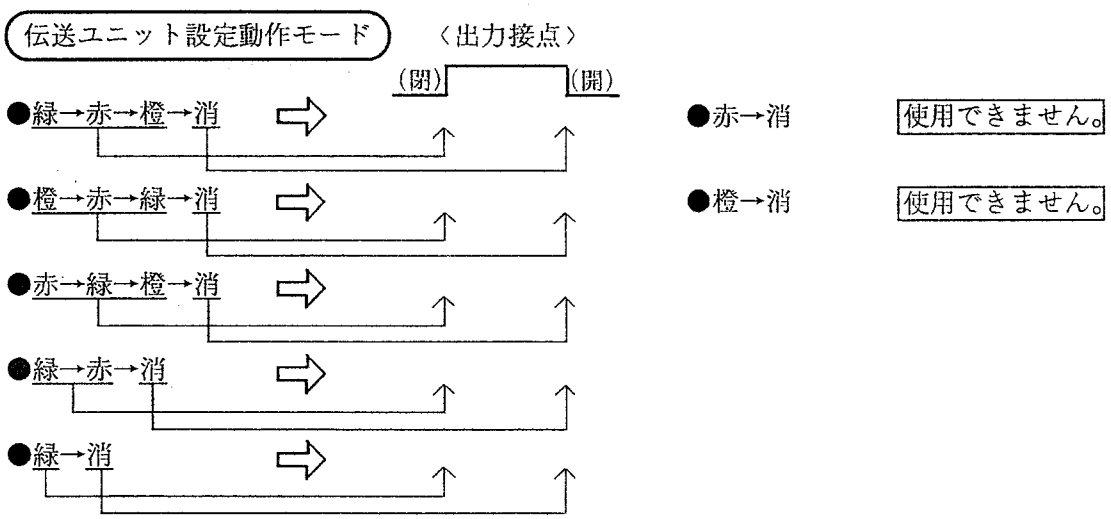
※これで他の操作器の窓番号4を操作することにより、EDN812401の出力端子の内部接続が開閉します。

(3) 本器の使用できる範囲は下記の通りです。

①入力端子



②出力端子



■ご注意事項

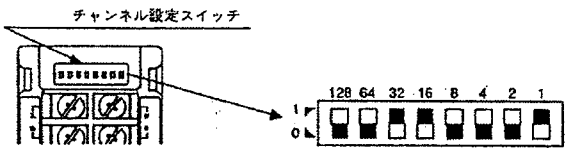
●出力端子の出力は無電圧ａ接点出力です。別途機器を動作させる場合、その電源も合わせて準備ください。

●瞬時停電時には、本機器からの無電圧ａ接点出力が一瞬開きます（0.5秒程度）が、異常ではありません。伝送ユニットよりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。

■チャンネル（機器）番号の合わせ方（P.54 “プログラム設定手順書”も参照してください）

(1) 本器のチャンネル設定

●裏面端子部上にあるチャンネル設定スイッチで設定します。



●上の例は、1、16、32のディップスイッチが「1」側に設定されています。

●「1」側に設定されている番号の本器のチャンネル番号となります。
上記の例では、32+16+1=49となります。

【ご注意】

●他の機器とは同一チャンネルに合わさないでください。

●チャンネル（機器）番号の設定は、伝送ユニット組込制御盤（EDN71301K）の電源を必ずOFF状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

●チャンネルの設定範囲は、1～120、128、160～255までできます。

(2) 窓番号の数え方

●入力端子の窓番号は「1」

●出力端子の窓番号は「3」

【ご注意】

●窓番号は本器のすべてに共通です。「1」「3」以外は登録しないでください。

(3) 名前番号の設定

●「入力端子」－ 外部無電圧a接点によって点灯される、表示窓の人（または部屋等）の名前番号を設定します。

●「出力端子」－ 接点出力したい人（または部屋等）の名前番号を設定します。

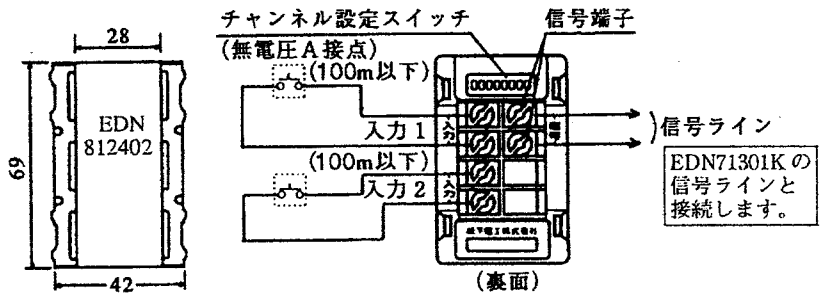
●名前番号は1～250の範囲で設定できます。

【ご注意】

●2ヶ所以上の入力端子に同一の名前番号の設定はできません。

２入力端末器（EDN812402）の取扱方法

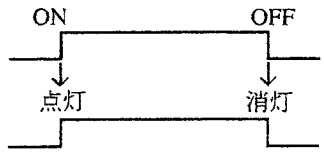
■各部の名称



■操作方法

(1) 入力端子に入力されたときの動作

●無電圧ａ接点

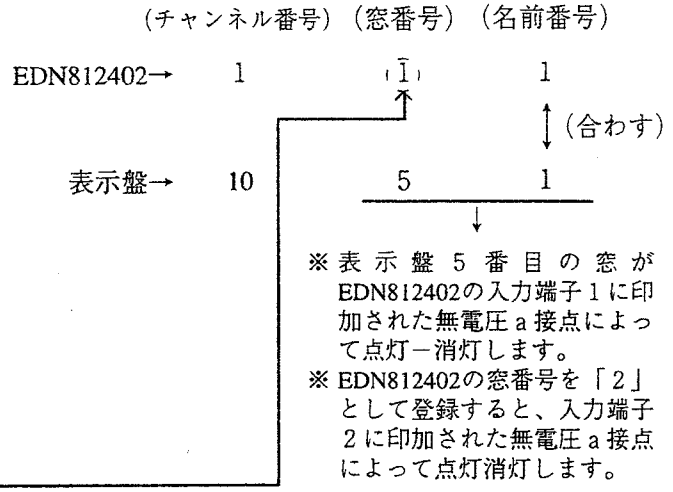


●表示盤

（2モード、4モード共）＝（緑色点灯）

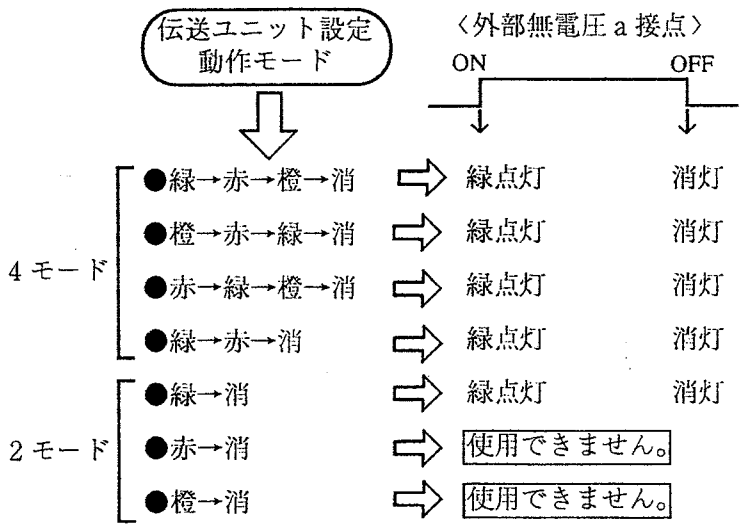
【ご注意】

●本器と表示盤の名前番号設定を同一にして、EDN71301Kの伝送ユニットに登録します。



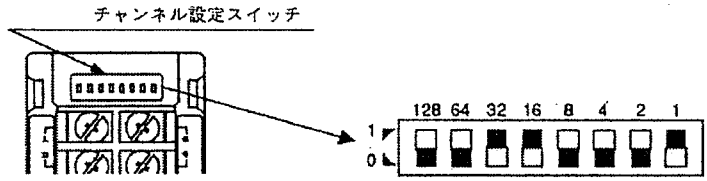
●本器の窓番号は入力端子１は「１」、入力端子２は「２」としてください。
●表示盤が４モードで動作しているとき、５番目の窓のみ〈緑－消灯〉となります。
●「緑」をふくまない表示パターンでの使用できません。

(2) 本器の使用できる範囲は下記の通りです。



■チャンネル（機器）番号の合わせ方（P54“プログラム設定手順書”も参照してください）
《出退表示システム（伝送ユニット組込制御盤EDN71301K）で使用する場合》

(1) 本器のチャンネル設定
●裏面端子部上にあるチャンネル設定スイッチで設定します。



●上の例は、1、16、32のチャンネル設定スイッチが「1」側に設定されています。
●「1」側に設定されている番号の和が本器のチャンネル番号となります。上記の例では、32＋16＋1＝49となります。

【ご注意】
●他の機器とは同一チャンネルに合わさないでください。
●チャンネル(機器)番号の設定は、伝送ユニット組込制御盤(EDN71301K)の電源を必ずOFF状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル(機器)番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

●チャンネルの設定範囲は、1～120、128、160～255までできます。

(2) 窓番号の数え方
●入力端子「1」の窓番号は「1」
●入力端子「2」の窓番号は「2」

【ご注意】
●窓番号は本器はすべてに共通です。「1」「2」以外は登録しないでください。

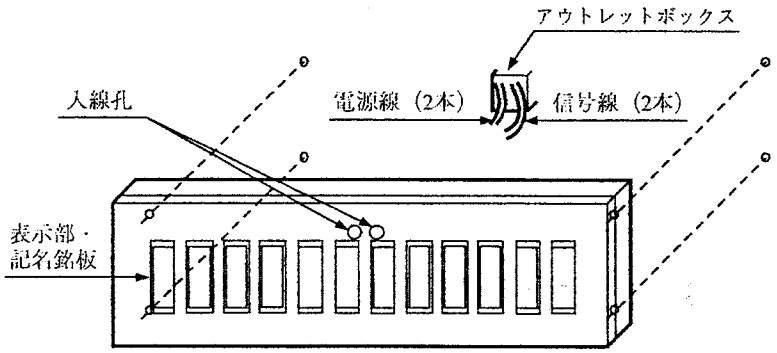
(3) 名前番号の設定
●「入力端子（1）」――外部無電圧a接点（1）によって点灯される、表示窓の人（または部屋等）の名前番号を設定します。
●「入力端子（2）」――外部無電圧a接点（2）によって点灯される、表示窓の人（または部屋等）の名前番号を設定します。
●名前番号は1～250の範囲で設定できます。

【ご注意】
●本器を2台以上使用時、同一の名前番号の設定はできません。

壁掛型表示盤の取扱方法

EDN111302、EDN111303、EDN111304、EDN111306、EDN111308、EDN111310、
EDN111312、EDN111316、EDN111318、EDN111320、EDN111324
EDN111332、EDN111340、EDN111348、EDN111364、
EDN112302、EDN112303、EDN112304、EDN112306、EDN112308、EDN112310、
EDN112312、EDN112316、EDN112318、EDN112320、EDN112324
EDN112332、EDN112340、EDN112348、EDN112364、
EDN114302、EDN114303、EDN114304、EDN114306、EDN114308、EDN114310、
EDN114312、EDN114316、EDN114318、EDN114320、EDN114324
EDN114332、EDN114340、EDN114348、EDN114364、
EDN114908、EDN114912、EDN114916、EDN114924、

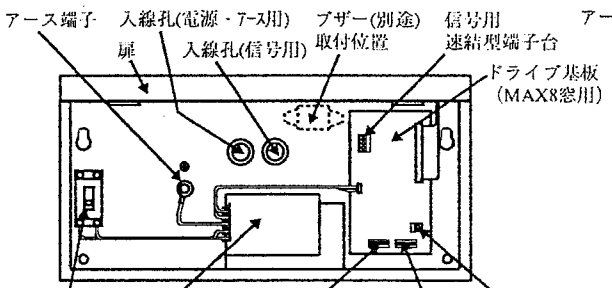
■各部の名称



■チャンネル（機器）番号の合せ方（P.54“プログラム設定手順書”も参照してください）

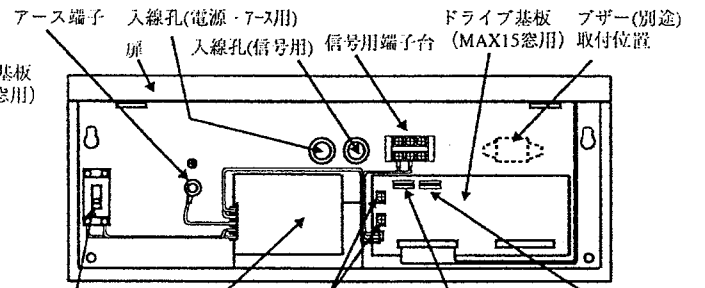
プリント基板上のチャンネル（機器）番号設定スイッチで設定してください。

● 2，3，4，6，8窓の場合（下図は8窓型）
ドライブ基板は“MAX8窓用”が内蔵されています。



表示盤内部配置図

● 10，12窓の場合（下図は12窓型）
ドライブ基板は“MAX15窓用”が内蔵されています。



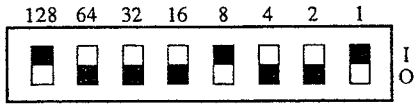
表示盤内部配置図

● 16，18，20，24窓の場合
ドライブ基板は“MAX30窓用”が内蔵されていますが、設置位置が10，12窓の場合と異なります。

● 32窓の場合
ドライブ基板は2枚（“MAX8窓用”と“MAX30窓用”）内蔵されています。

● 40，48窓の場合
・ドライブ基板は2枚（40窓では“MAX15窓用”と“MAX30窓用”各1枚、48窓では“MAX30窓用”が2枚）内蔵されています。
・直流電源は表示器1台に2個付いています。

● 64窓の場合
・ドライブ基板は3枚（“MAX8窓用”×1と“MAX30窓用”×2）内蔵されています。
・直流電源は表示器1台に2個付いています。

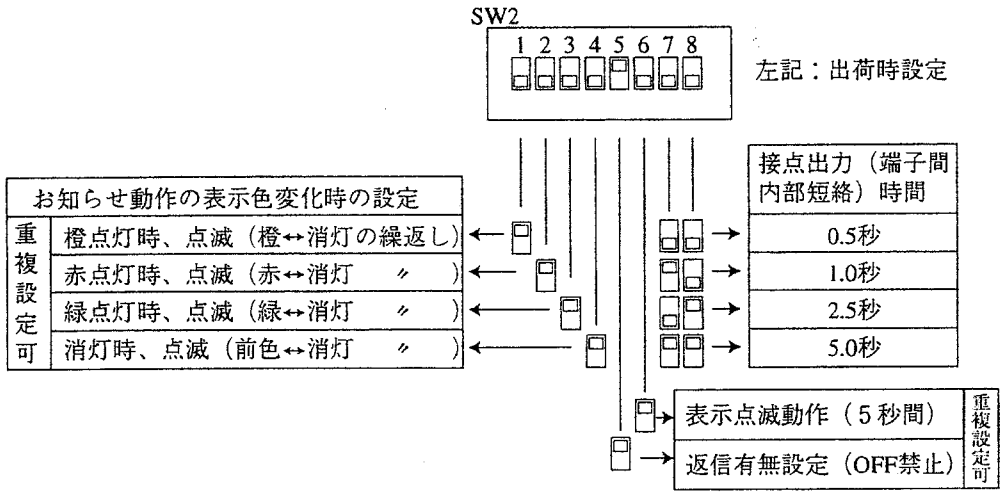


1～120、128、160～255チャンネル（機器）番号まで設定可能。
1側に設定されている番号の和がチャンネル（機器）番号になります。
例　128＋8＋1＝137

■おしらせ動作の合せ方

●おしらせ動作には、次の２種類があります。基板上のSW2にて設定してください。

おしらせ動作 ｛ 表示点滅（5秒間）
　　接点出力（端子間が基板内部で短絡します）



■操作方法

●電源スイッチを“入”にします。
●操作器の押釦を押す毎に、緑→赤→橙→消灯をくり返します。（表示順序は点灯モード、表示盤の種類により異なります。詳しくは本書P.14の“伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71310K）の取扱方法”をご参照ください。）

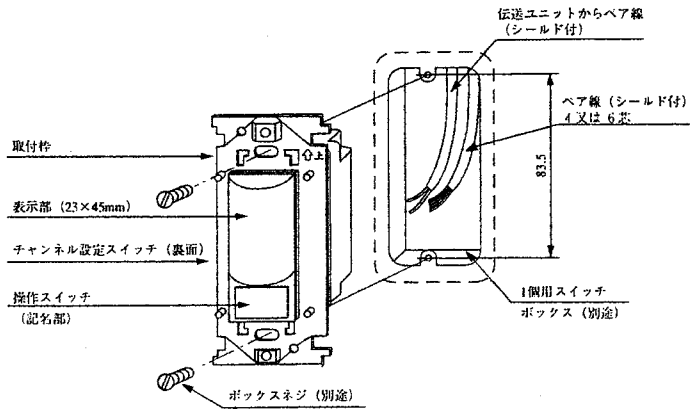
■ご注意

●チャンネル（機器）番号の設定は、本機器及び伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）の電源を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。
●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えますが、異常ではありません。伝送ユニット組込制御盤（L型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。（お知らせ機能をご使用の場合は表示復帰時に表示部が5秒間点滅します。）

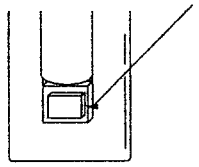
埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）（EDN447401K）の取扱方法

本器1台の信号消費電流は70mAありますので、台数を多く接続される場合、本器を含めた接続機器の合計信号消費電流にご注意ください。例えば伝送ユニットに表示盤（呼出表示用）1台と本器8台以上を接続される場合、本器の7台目以降は中継増幅器を経由して接続してください。

■各部の名称



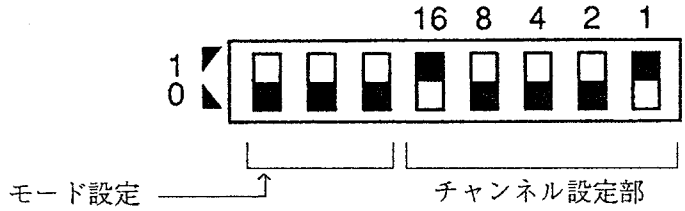
■記名部の記入方法



- スイッチカバーをひっぱってはずしてください。
- 警報呼出表示機能の場合…
  “復旧／使用中”（付属）のシールをはってください。
  トイレ緊急呼出表示機能の場合…
  “復旧”のシールをはってください。
- スイッチカバーをとりつけてください。

■チャンネル（機器）番号の合わせ方（P.54 “プログラム設定手順書”も参照してください）

裏面のチャンネル（機器）設定スイッチであわせます。



●モード設定スイッチを「0」「0」「0」とすると、次のページの“常時”、“呼出表示（①②③④）のみの専用動作”

……トイレ緊急呼出表示モード

モード設定スイッチを「1」「0」「0」とすると、上記に加えさらに“使用中表示”が可能

…警報呼出表示モード

用途に応じて、埋込型廊下灯（個別用の復旧釦付）（呼出表示用）（EDN447401K）にて上記の設定をしてください。これにより表示盤（呼出表示用）において、窓単位でモードの設定が可能です。

●伝送ユニットに登録するチャンネル番号（129～158まで可）を設定してください。「1」側に設定されている番号の和がその値になります。上記の例ではチャンネル設定部が17の場合128＋17＝145となり、上記の絵のように設定してください。

(2)窓番号の数え方

●窓番号はすべてのEDN447401Kにおいて「1」としてください。

● 〃 を「1」以外に設定しますと正常に動作しなくなります。

(3)名前番号

30名（30ヶ所）まで設置可能です。

操作手順と動作内容　表中の「埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）の"呼出入力"端子間」の開／閉は、呼出用押釦でおこないます。呼出用押釦とは、埋込プルスイッチ付押釦スイッチ、机下型操作器（個別用）（呼出表示用）、埋込型操作器（個別用）（呼出表示用）のことです。

用途	操作手順		表示盤(呼出表示用)		埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）		
			表示	ブザー	表示	"外部出力"	"LED出力"の電圧
警報呼出表示	常時		消灯	止	消灯	開	なし
	使用中表示	埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）の操作スイッチを押す　《使用中表示》	橙点灯		橙点灯		
	呼出表示	①上記の"呼出入力"端子間を開く　《呼出表示》	赤点滅	鳴	赤点滅	閉	あり
		②表示盤（呼出表示用）の"ブザー停止"釦を押す　《確認中表示》	赤点灯	止			
		③埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）の操作スイッチを押す　《確認表示》	緑点灯		緑点灯	開	なし
		④表示盤（呼出表示用）の"復旧"釦を押す　《一斉復旧》 ＝"常時"	"常時"と同じ				
呼出表示トイレ緊急	上記“常時”および“呼出表示（①～④）”と同じ						

説明）・動作は→の方向へ遷移することができる。
・"使用中表示"動作中に再度"使用中表示"の操作が入れば、"常時"へ戻る。
・①は、"常時"、"使用中表示"のどちらの状態からでも優先的に割り込み動作をする。
・②、③動作時に①の操作が入れば、①以降の動作をする。
・①動作時に③を操作すると、③以降を動作する。
・③、④は、埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）の"呼出入力"端子間が閉条件が必要。

呼出表示システムには異常検出の機能があります。
現象と異常内容の関係を次に示します。

機器異常検出機能動作表　＊　呼出用押釦とは、b接点を有する　埋込プルスイッチ付押釦スイッチ（WS65772）、机下型操作器（個別用）（呼出表示用）（EDN446202）、埋込型操作器（個別用）（呼出表示用）（EDN446403）のことです。
—— は、正常時の表示状態を保持することを示します。

異常内容	埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）			表示盤(呼出表示用)					
	表示	"外部出力" 「開」時、ブザー（別途）消音 「閉」時、ブザー（別途）鳴動	"LED出力"の電圧 「なし」時パイロットランプ（プルスイッチ付押釦）消灯 「あり」時パイロットランプ（プルスイッチ付押釦）点灯	表示窓	ブザー	電源灯（緑）	故障表示灯		
							呼出（緑）	廊下灯（黄）	信号（赤）
異常時1 伝送ユニット異常（2線式多重）信号異常	消灯	開	なし	——	鳴動（連続音）	点灯	消灯	消灯	点灯
異常時2 表示盤異常 CPU断、暴走、停止	——	——	——	不定	鳴動（連続音）	消灯	不定	不定	不定
異常時3 表示盤の電源OFF	——	——	——	消灯	消音	消灯	消灯	消灯	消灯
異常時4 埋込型廊下灯異常 埋込型廊下灯未接続	消灯	開	なし	緑点滅	鳴動（連続音）	点灯	消灯	点灯	消灯
異常時5 埋込型廊下灯復旧釦異常 或いは呼出釦5秒以上ON 呼出用押釦（＊）異常 或いはb接点5秒以上断	緑点滅	閉／開 繰り返し	あり／なし 繰り返し	緑点滅	鳴動（連続音）	点灯	点灯	消灯	消灯

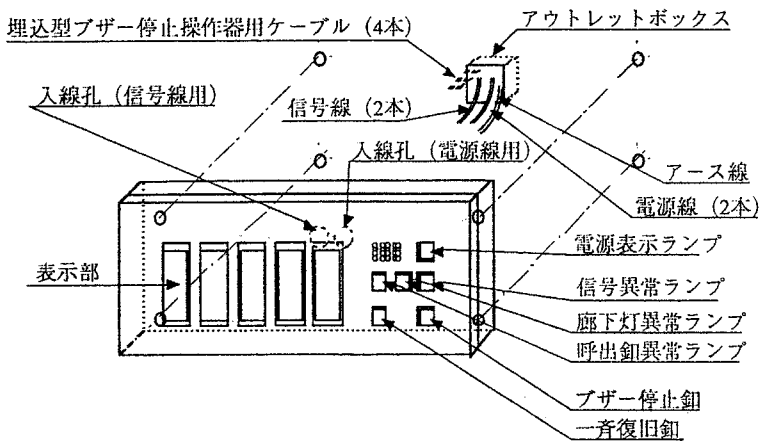
■ご注意

- チャンネル（機器）番号の設定は、本機器及び伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）の電源を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。
- 瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えますが、異常ではありません。伝送ユニット組込制御盤（L型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。

壁掛型表示盤（呼出表示用）の取扱方法

EDN146301, EDN146303, EDN146305, EDN146310

■各部の名称



■チャンネル（機器）番号、窓数、ブザー音の合わせ方（P.54“プログラム設定手順書”も参照してください）

プリント基板上の各設定スイッチで設定してください。

チェンネル（機器）番号設定

チャンネル番号（121～127まで可）から120を引いた値を設定してください。方法は、スイッチ毎にスイッチの状態（1または0）に下記に示す“重み”を乗算し、その和が上記の値になるようセットしてください。
チャンネル番号が121の場合、121－120＝1なので、下図のようにセットしてください（4×0＋2×0＋1＝1）。

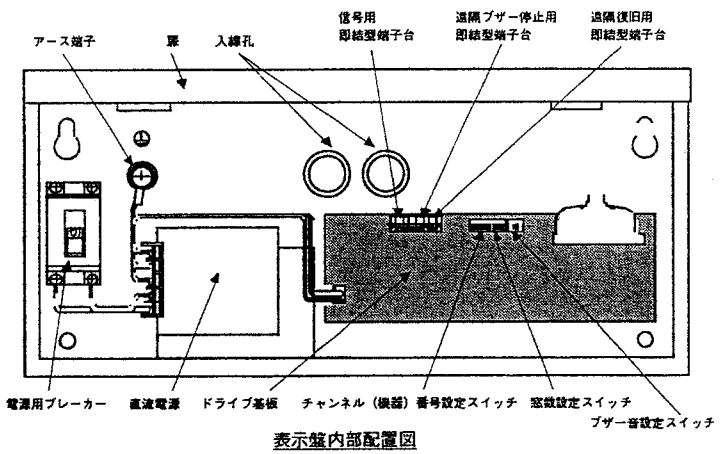
窓数設定

方法は、スイッチ毎にスイッチの状態（1または0）に下記に示す“重み”を乗算し、その和が窓数になるようセットしてください。
5窓の場合、下図のようにセットしてください（8×0＋4×1＋2×0＋1＝5）。

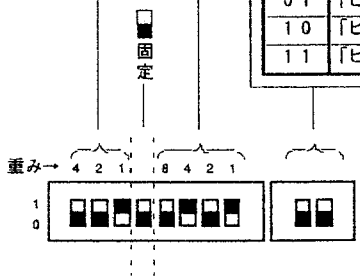
ブザー音設定

呼び出し時の音を設定します。下記にもとづき設定してください。

設定	音
00	「ピピピピ…」
01	「ピピピッ、ピピピッ、…」
10	「ピー、ピー、…」
11	「ピー…」



表示盤内部配置図



■ご注意

●窓数設定を必ず、接続されている埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）（EDN447401K）と同じ数に設定してください。そうしないと伝送ユニットのプログラム設定内容によっては、次々ページの異常時4が動作する場合があります。

■操作方法

●電源スイッチを“入”にします。

●埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）、呼出用押釦との組み合わせ操作により、次のように動作します。但し動作内容は、上記埋込型廊下灯のスイッチの設定が警報呼出表示モードの場合とトイレ緊急呼出表示モードの場合とで異なります。

操作手順と動作内容　表中の「埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）の"呼出入力"端子間」の開／閉は、呼出用押釦でおこないます。呼出用押釦とは、埋込プルスイッチ付押釦スイッチ、机下型操作器（個別用）（呼出表示用）、埋込型操作器（個別用）（呼出表示用）のことです。

用途	操作手順		表示盤(呼出表示用)		埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）		
			表示	ブザー	表示	"外部出力"	"LED出力"の電圧
警報呼出表示	常時		消灯	止	消灯	開	なし
	使用中表示	埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）の操作スイッチを押す　《使用中表示》	橙点灯		橙点灯		
	呼出表示	①上記の"呼出入力"端子間を開く　《呼出表示》	赤点滅	鳴	赤点滅	閉	あり
		②表示盤（呼出表示用）の"ブザー停止"釦を押す　《確認中表示》	赤点灯	止			
		③埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）の操作スイッチを押す　《確認表示》	緑点灯		緑点灯	開	なし
		④表示盤（呼出表示用）の"復旧"釦を押す　＝"常時"　《一斉復旧》	"常時"と同じ				
トイレ緊急呼出表示	上記“常時”および“呼出表示（①～④）”と同じ						

説明）・動作は→の方向へ遷移することができる。
・"使用中表示"動作中に再度"使用中表示"の操作が入れば、"常時"へ戻る。
・①は、"常時"、"使用中表示"のどちらの状態からでも優先的に割り込み動作をする。
・②、③動作時に①の操作が入れば、①以降の動作をする。
・①動作時に③を操作すると、③以降を動作する。
・③、④は、埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）の"呼出入力"端子間が閉条件が必要。

呼出表示システムには異常検出の機能があります。
現象と異常内容の関係を次に示します。

機器異常検出機能動作表　＊ 呼出用押釦とは、b接点を有する　埋込プルスイッチ付押釦スイッチ（WS65772）、机下型操作器（個別用）（呼出表示用）（EDN446202）、埋込型操作器（個別用）（呼出表示用）（EDN446403）のことです。
—— は、正常時の表示状態を保持することを示します。

異常内容	埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）			表示盤(呼出表示用)					
	表示	"外部出力" 「開」時、ブザー（別途）消音 「閉」時、ブザー（別途）鳴動	"LED出力"の電圧 「なし」時ﾊﾟｲﾛｯﾄﾗﾝﾌﾟ(ﾌﾟｯｼｭｽｲｯﾁ付押釦)消灯 「あり」時ﾊﾟｲﾛｯﾄﾗﾝﾌﾟ(ﾌﾟｯｼｭｽｲｯﾁ付押釦)点灯	表示窓	ブザー	電源灯（緑）	故障表示灯		
							呼出（緑）	廊下灯（黄）	信号（赤）
異常時1 伝送ユニット異常 （2線式多重）信号異常	消灯	開	なし	——	鳴動（連続音）	点灯	消灯	消灯	点灯
異常時2 表示盤異常 CPU断、暴走、停止	——	——	——	不定	鳴動（連続音）	消灯	不定	不定	不定
異常時3 表示盤の電源OFF	——	——	——	消灯	消音	消灯	消灯	消灯	消灯
異常時4 埋込型廊下灯異常 埋込型廊下灯未接続	消灯	開	なし	緑点滅	鳴動（連続音）	点灯	消灯	点灯	消灯
異常時5 埋込型廊下灯復旧釦異常 或いは呼出釦5秒以上ON 呼出用押釦（＊）異常 或いはb接点5秒以上断	緑点滅	閉／開 繰り返し	あり／なし 繰り返し	緑点滅	鳴動（連続音）	点灯	点灯	消灯	消灯

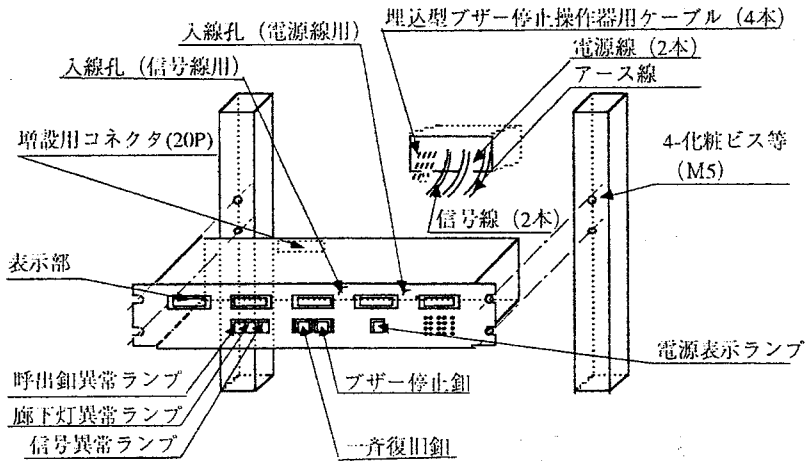
■ご注意

- チャンネル（機器）番号の設定は、本機器及び伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）の電源を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。
- 瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えますが、異常ではありません。伝送ユニット組込制御盤（L型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。
- 電源投入時1度ブザーが鳴りますが異常ではありません。
- 電源投入の際は、各システムの配線及び伝送ユニットの電源が入っていることを確認の上電源投入して下さい。信号が出ていない状態で電源を入れられますと、信号異常が発生し、ブザーが鳴動します。

EIAラック型表示盤（呼出表示用）の取扱方法

EDN147501, EDN147503, EDN147505

■各部の名称



■チャンネル（機器）番号、窓数、ブザー音の合わせ方（P.54 “プログラム設定手順書”も参照してください）

プリント基板上の各設定スイッチで設定してください。

チェンネル（機器）番号設定

チャンネル番号（121～127まで可）から120を引いた値を設定してください。方法は、スイッチ毎にスイッチの状態（1または0）に下記に示す“重み”を乗算し、その和が上記の値になるようセットしてください。
チャンネル番号が121の場合、121－120＝1なので、下図のようにセットしてください（4×0+2×0+1＝1）。

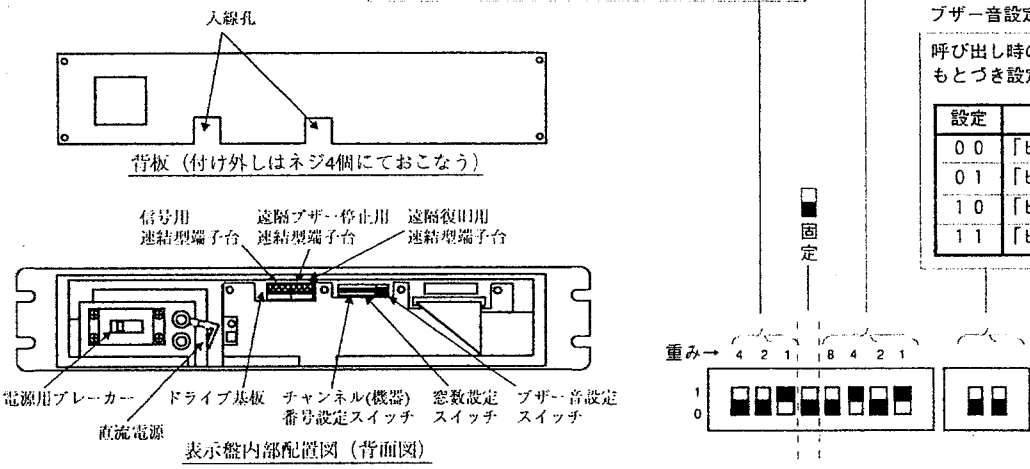
窓数設定

方法は、スイッチ毎にスイッチの状態（1または0）に下記に示す“重み”を乗算し、その和が窓数になるようセットしてください。
5窓の場合、下図のようにセットしてください（8×0+4×1+2×0+1＝5）。

ブザー音設定

呼び出し時の音を設定します。下記にもとづき設定してください。

設定	音
0 0	「ピピピピ…」
0 1	「ピピピッ、ピピピッ、…」
1 0	「ピー、ピー、…」
1 1	「ピー…」



■操作方法

●壁掛型表示盤（呼出表示用）と同じです。前々，前ページをご覧ください。

■ご注意

●チャンネル（機器）番号の設定は、本機器及び伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）の電源を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

●窓数設定を必ず、接続されている埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）（EDN447401K）と同じ数に設定してください。そうしないと伝送ユニットのプログラム設定内容によっては、前ページの異常時４が動作する場合があります。

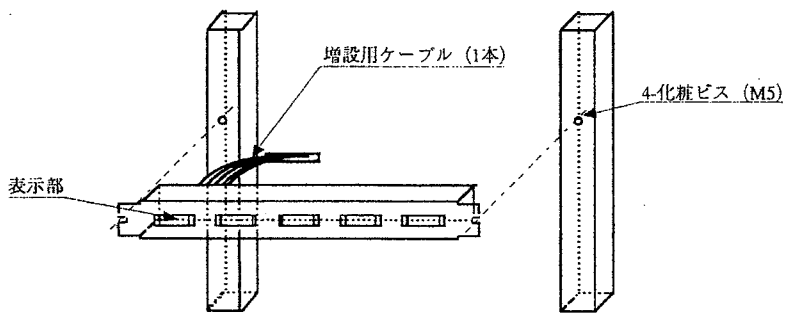
●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えますが、異常ではありません。伝送ユニット組込制御盤（L型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。

●電源投入時１度ブザーが鳴りますが異常ではありません。

●電源投入の際は、各システムの配線及び伝送ユニットの電源が入っていることを確認の上電源投入して下さい。信号が出ていない状態で電源を入れられますと、信号異常が発生し、ブザーが鳴動します。

EIAラック型表示盤（5窓・増設用）（呼出表示用）の取扱方法
EDN146505

■各部の名称



本器はEIAラック型表示盤（呼出表示用）の一部（追加窓）としての機能のみを有し、制御機能をもちません。よって各設定は増設用ケーブルにて接続するEIAラック型表示盤（呼出表示用）側で行ってください。また本器で操作もしません。

■ご注意

●呼出表示用システムには異常検出の機能があります。本書P.14の“伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）の取扱方法”をご参照ください。

EIAラック型以外の表示盤および表示ユニットには記名用銘板が付属されておりません。別途下記の記名用銘板を購入してください。銘板の彫刻も別途承ります。

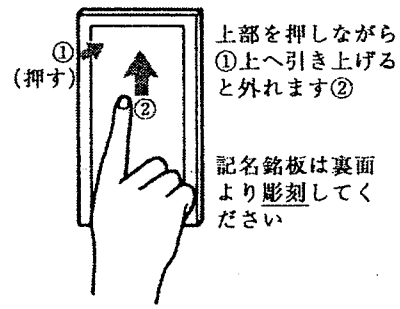
銘板	窓寸法	タテ100mm×ヨコ30mm			
	材　質	透明アクリルに裏面黒色シルク印刷		乳半アクリル	
	品　番	ED5184（4枚入り・未彫刻）		ED5185（4枚入り・未彫刻）	
彫刻	彫刻文字寸法	2～3文字：市長／収入役	4～6文字：総務部長／都市開発部長	2～3文字：市長／収入役	4～6文字：総務部長／都市開発部長
	一文字の大きさ	20mm×20mm	14mm×14mm	20mm×20mm	14mm×14mm
	文字の太さ	1.7mm	1.2mm	1.7mm	1.2mm
適　用		壁掛型表示盤（EDN11□3□□） 表示ユニット（EDN12□□□□） 壁掛型表示盤（呼出表示用）（EDN1463□□）			

銘板	窓寸法	タテ130mm×ヨコ40mm			
	材　質	透明アクリルに裏面黒色シルク印刷		乳半アクリル	
	品　番	ED51837707（1枚入り・未彫刻未彫刻）		ED51827707（1枚入り・未彫刻）	
彫刻	彫刻文字寸法	2～3文字：市長／収入役	4～6文字：総務部長／都市開発部長	2～3文字：市長／収入役	4～6文字：総務部長／都市開発部長
	一文字の大きさ	27mm×27mm	17mm×17mm	27mm×27mm	17mm×17mm
	文字の太さ	2.3mm	1.4mm	2.3mm	1.4mm
適　用		壁掛型表示盤（大型用）（EDN1149□□）			

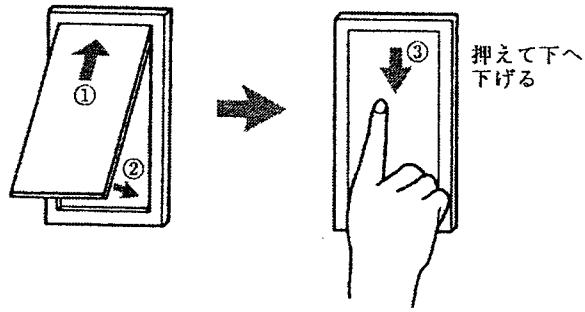
EIAラック型表示盤には下記の未彫刻記名用銘板が付属しています。

銘板	窓寸法	タテ12mm×ヨコ40mm
	材　質	乳半アクリル
	品　番	ED51927707（1枚入り・未彫刻）
彫刻	彫刻文字寸法	2～5文字：1　階／取調室3／トイレ／1階トイレ
	一文字の大きさ	7mm×7mm
	文字の太さ	0.6mm
適　用		EIAラック型表示盤（呼出表示用）（EDN1475□□、EDN146505）

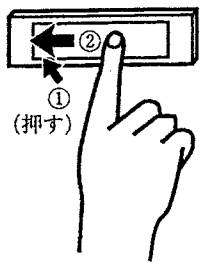
■記名銘板のとりはずし方



■記名銘板のはめ方



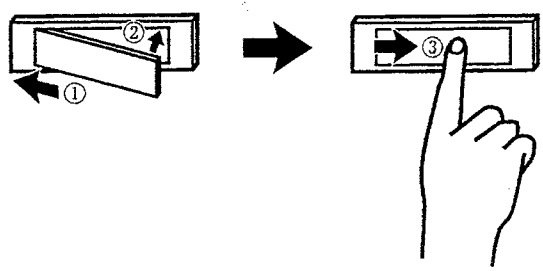
タテ12mm×ヨコ40mmの場合



左部を押しながら①←へ
引き上げると外れます②

記名銘板は裏面より彫刻
してください

タテ12mm×ヨコ40mmの場合



押えて右へずらす

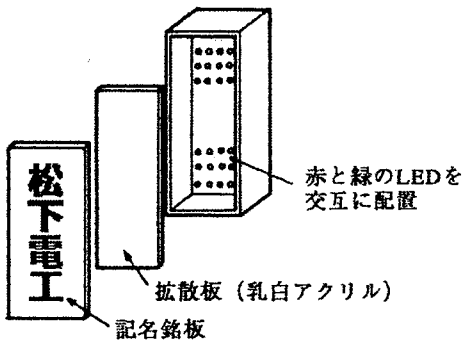
■表示器の構造

●LED方式

4モード　緑・赤のLED発光色の組合せにより、緑→赤→橙→消灯をくり返します。

2モード・緑　緑のLED発光色により、緑→消灯をくり返します。

2モード・赤　赤のLED発光色により、赤→消灯をくり返します。



●表示色とLEDの関係

表示＼LED	緑	赤
緑	○	
赤		○
橙	○	○
消灯		

プログラム設定手順書

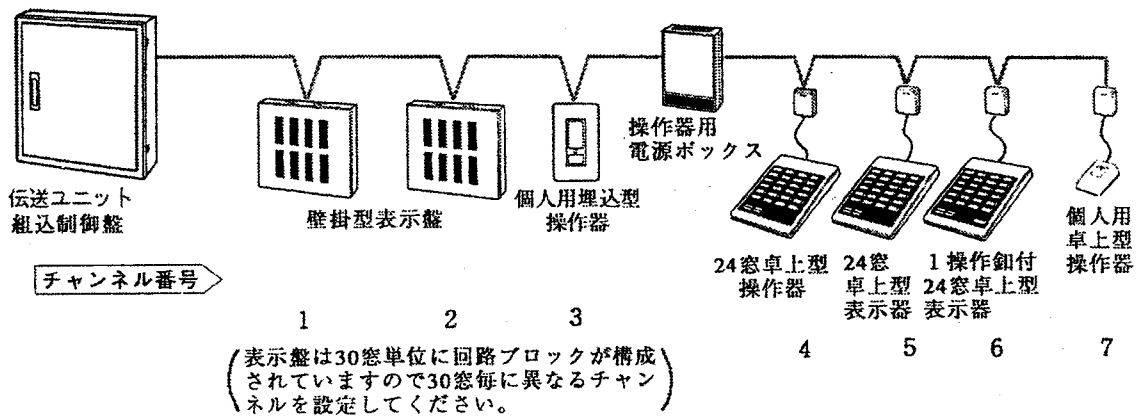
[1] プログラム制定

(1) 接続機器のチャンネル番号を決めます。

《例》

■接続機器のチャンネル番号を1から順番に決めてください。＝チャンネル番号は1～255まで設定出来ます。

●伝送ユニット組込制御盤(L型)、電源ユニット(操作器用)、中継増幅器はチャンネル番号は不要です。



(2) 表示したい人の名前に番号を付けます。

《例》

■表示する名前を番号を決めてください。＝名前番号は1～250まで設定出来ます。

名前番号	名　前	名前番号	名　前	名前番号	名　前
1	市　長	11	環境部長	・	・
2	助　役	12	商工部長	・	・
3	収入役	13	農務部長	・	・
4	教育長	14	建設部長	・	・
5	市長公室長	15	都市開発部長	・	・
6	総務部長	16	下水道部長	・	・
7	企画部長	・	・	・	・
8	財務部長	・	・	・	・
9	民生部長	・	・	249	・
10	福祉部長	・	・	250	・

(3) どの名前をどの表示窓に表示するかをきめます。

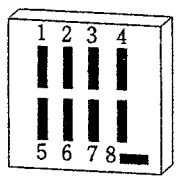
《例》

■点灯位置を決めてください。

窓番号の数え方

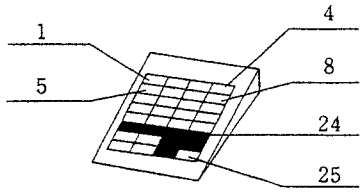
●窓番号は機器によって順番がありますのでご注意ください。

壁掛型表示盤



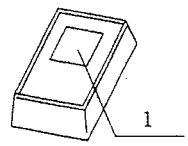
左上から順番に右に数えます。窓数が多くなっても同様です。

卓上型操作器、表示器

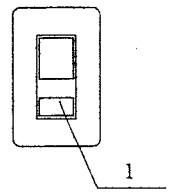


左上から順番に右に数えます。卓上型操作器（個別用）（24窓表示器付）の押釦部は25、卓上型操作器（個別用）（28窓表示器付）の押釦部は29と数えます。

卓上型操作器（個別用）



埋込型操作器（個別用）



埋込型、卓上型とも窓番号は１つです。

■表示盤等で30窓をこえる場合、30窓ごとにチャンネルを保有することになります。この場合の窓番号の数え方は1から30を繰り返すことになります。

(4) 以上のきめた内容を付属のプログラム表に記入します。

■付属のプログラム表に設置場所・機器名・チャンネル番号・名前番号を記入します。

設置場所		玄関受付横			
機器名		壁掛型表示盤（8窓）			
チャンネル番号		1			
窓番号	名前番号	窓番号	名前番号	窓番号	名前番号
1	1	11		21	
2	2	12		22	
3	3	13		23	
4	4	14		24	
5	5	15		25	
6	6	16		26	
7	7	17		27	
8	8	18		28	
9		19		29	
10		20		30	

設置場所		ロビー			
機器名		壁掛型表示盤（8窓）			
チャンネル番号		2			
窓番号	名前番号	窓番号	名前番号	窓番号	名前番号
1	9	11		21	
2	10	12		22	
3	11	13		23	
4	12	14		24	
5	13	15		25	
6	14	16		26	
7	15	17		27	
8	16	18		28	
9		19		29	
10		20		30	

設置場所		1F応接室			
機器名		個人用埋込型操作器			
チャンネル番号		3			
窓番号	名前番号	窓番号	名前番号	窓番号	名前番号
1	21	11		21	
2		12		22	
3		13		23	
4		14		24	
5		15		25	
6		16		26	
7		17		27	
8		18		28	
9		19		29	
10		20		30	

設置場所		通用口			
機器名		24窓卓上型操作器			
チャンネル番号		4			
窓番号	名前番号	窓番号	名前番号	窓番号	名前番号
1	1	11	11	21	21
2	2	12	12	22	
3	3	13	13	23	
4	4	14	14	24	
5	5	15	15	25	
6	6	16	16	26	
7	7	17		27	
8	8	18		28	
9	9	19		29	
10	10	20		30	

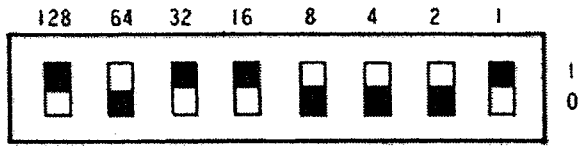
設置場所		受付			
機器名		24窓卓上型表示器			
チャンネル番号		5			
窓番号	名前番号	窓番号	名前番号	窓番号	名前番号
1	1	11	11	21	21
2	2	12	12	22	
3	3	13	13	23	
4	4	14	14	24	
5	5	15	15	25	
6	6	16	16	26	
7	7	17		27	
8	8	18		28	
9	9	19		29	
10	10	20		30	

設置場所		秘書			
機器名		1操作釦付24窓卓上型表示器			
チャンネル番号		6			
窓番号	名前番号	窓番号	名前番号	窓番号	名前番号
1	1	11	11	21	21
2	2	12	12	22	
3	3	13	13	23	
4	4	14	14	24	
5	5	15	15	25	1
6	6	16	16	26	
7	7	17		27	
8	8	18		28	
9	9	19		29	
10	10	20		30	

[2] 各機器のチャンネル番号設定

■接続されている各機器のチャンネル番号を設定します。

■チャンネル番号の合わせ方



1 側に設定されている番号の和がチャンネル番号になります。

例　128+32+16+1=177

■各機器のチャンネルスイッチの場所や合わせ方の詳細については各機器の説明書をご参照ください。

■伝送ユニット組込制御盤(L型)、中継増幅器、電源ユニット(操作器用)などは設定の必要はありません。

[3] 表示窓記名

■プログラム表にしたがって、各表示器の表示窓に名前を記入、表示盤には彫刻された銘板をセットしてください。

■名前の記入方法や彫刻銘板のセットについては、各機器の説明書をご参照ください。

[4] 電源投入

■各機器間の配線チェック後、電源（AC100V）を供給します。

(1) 表示盤、表示ユニットの電源スイッチを「ON」にします。

(2) 伝送ユニット組込制御盤（L型）の電源スイッチを「ON」にします。

■伝送ユニット組込制御盤(L型)の各スイッチの位置が下記のようになっていることを確認してください。

＊信号スイッチ ---------- ＊「呼出」
＊テストスイッチ ---------- ＊「切」
＊動作モードスイッチ ---------- ＊「動作」

＊表示モード選択スイッチ－－－－－－＊本書P.17の”表示モードの選択方法”に従って合わせてください。
＊点灯モード選択スイッチ－－－－－－＊本書P.17の”表示モードの選択方法”に従って、希望される点灯順序のモードに合わせて下さい。

ご注意事項

表示モードスイッチを切替えるときは、切替後、一度必ず信号スイッチを「呼出」にして再度「出退」にして下さい。

[5]「短絡表示」確認

(1)　伝送ユニット組込制御盤（L型）の信号スイッチを「出退」にします。
(2)　「短絡表示」が点灯しないことを確認します。
(3)　「短絡表示」が点灯した場合、配線及び端子部の接続状態をもう一度チェックしてください。

[6] プログラム書込みと確認

■プログラム表にしたがって、伝送ユニット組込制御盤（L型）にプログラムを書込みます。
■書込んだプログラムを確認します。
■書込方法、確認方法は本書P.14の”伝送ユニット組込制御盤（L型）（EDN71301K）の取扱方法”をご参照ください。

[7] 信号スイッチーリセット（各表示器の表示を全て消灯します。）

(1)　テストスイッチは「切」、動作モードスイッチは「動作」にします。
(2)　信号スイッチを「呼出」にして、再度信号スイッチを「出退」にします。
　　（信号スイッチを「呼出」にすることにより、出退表示部が全て消灯します）

[8] テスト（各表示器の点灯テストです。）

(1)　信号スイッチを「出退」後、テストスイッチを「入」にします。（待機中表示LEDが点灯）
■4モード表示器の場合
＊各表示器が「橙色」LEDで順次（チャンネル・窓番号順）「点灯」した後「消灯」をくり返します。
　（伝送ユニット組込制御盤（L型）の表示モード選択スイッチに関係なく行ないます。）
■2モード表示器の場合
＊2モード（緑）表示器の場合は「緑色」LEDで、2モード（赤）表示器の場合は「赤色」LEDで順次（チャンネル・窓番号順）「点灯」した後「消灯」をくり返します。

■表示盤で記名銘板が裏面黒色シルク印刷でまだ彫刻していない場合、点灯の確認が困難です。その場合は記名銘板をはずして確認してください。
■伝送ユニット組込制御盤（L型）にプログラムがセットされていない場合は点灯しません。ただし、2窓ずつペアで出力しますのでその片方がセットされていれば2窓共点灯します。
■伝送ユニット組込制御盤（L型）と表示器・操作器との配線工事の確認ができます。
(2)　テストスイッチを「切」にします。
■待機中表示LED（橙色）が消灯します。

[9] タイマーセット

■伝送ユニット組込制御盤（L型）内のタイムスイッチをセットします。
＊「入時刻」　オフィスサインを使用する時刻より少し前の時刻にセットします。
＊「切時刻」　オフィスサインを使用し終わる時刻より少し後の時刻にセットします。
■設定方法は本書P.20タイムスイッチ（品番：TB262101）の説明書をご参照ください。

[10] 確認

(1)　操作器を操作して、操作スイッチの名前と表示器、表示盤の名前が対応していることを確認してください。
■本書P.17の”表示モードの選択方法”に従って、機器が設定した通りの表示するか確認します。
■通常のスイッチの位置は信号スイッチ「出退」、テストモードスイッチ「切」、動作モードスイッチ「動作」です。「待機中」表示は消灯しています。

ナショナルオフィスサインプログラム表1

プログラム作成日	年　月　日
プログラム作成者	

1. 表示する名前の番号を決めます。

名前番号	名　前	名前番号	名　前	名前番号	名　前	名前番号	名　前	名前番号	名　前
1		27		53		79		105	
2		28		54		80		106	
3		29		55		81		107	
4		30		56		82		108	
5		31		57		83		109	
6		32		58		84		110	
7		33		59		85		111	
8		34		60		86		112	
9		35		61		87		113	
10		36		62		88		114	
11		37		63		89		115	
12		38		64		90		116	
13		39		65		91		117	
14		40		66		92		118	
15		41		67		93		119	
16		42		68		94		120	
17		43		69		95		121	
18		44		70		96		122	
19		45		71		97		123	
20		46		72		98		124	
21		47		73		99		125	
22		48		74		100		126	
23		49		75		101		127	
24		50		76		102		128	
25		51		77		103		129	
26		52		78		104		130	

2. 全ての接続機器のチャンネル番号を決めます。

（同じ表示盤でも30窓単位に回路ブロックが構成されていますので、30窓毎に異なるチャンネルを設定してください。）

3 .該当する窓番号のところへ名前番号を記入します。

（30窓を超える表示盤の窓番号の呼び方は、1～30を繰り返します。）

ナショナルオフィスサインプログラム表2

1. 表示する名前の番号を決めます。

名前番号	名　前	名前番号	名　前	名前番号	名　前	名前番号	名　前	名前番号	名　前
131		157		183		209		235	
132		158		184		210		236	
133		159		185		211		237	
134		160		186		212		238	
135		161		187		213		239	
1326		162		188		214		240	
137		163		189		215		241	
138		164		190		216		242	
139		165		191		217		243	
140		166		192		218		244	
141		167		193		219		245	
142		168		194		220		246	
143		169		195		221		247	
144		170		196		222		248	
145		171		197		223		249	
146		172		198		224		250	
147		176		199		225			
148		174		200		226			
149		175		201		227			
150		176		202		228			
151		177		203		229			
152		178		204		230			
153		179		205		231			
154		180		206		232			
155		181		207		233			
153		182		208		234			

設置場所					
機器名					
チャンネル番号					
窓番号	名前番号	窓番号	名前番号	窓番号	名前番号
1		11		21	
2		12		22	
3		13		23	
4		14		24	
5		15		25	
6		16		26	
7		17		27	
8		18		28	
9		19		29	
10		20		30	

設置場所					
機器名					
チャンネル番号					
窓番号	名前番号	窓番号	名前番号	窓番号	名前番号
1		11		21	
2		12		22	
3		13		23	
4		14		24	
5		15		25	
6		16		26	
7		17		27	
8		18		28	
9		19		29	
10		20		30	

設置場所					
機器名					
チャンネル番号					
窓番号	名前番号	窓番号	名前番号	窓番号	名前番号
1		11		21	
2		12		22	
3		13		23	
4		14		24	
5		15		25	
6		16		26	
7		17		27	
8		18		28	
9		19		29	
10		20		30	

設置場所					
機器名					
チャンネル番号					
窓番号	名前番号	窓番号	名前番号	窓番号	名前番号
1		11		21	
2		12		22	
3		13		23	
4		14		24	
5		15		25	
6		16		26	
7		17		27	
8		18		28	
9		19		29	
10		20		30	

設置場所					
機器名					
チャンネル番号					
窓番号	名前番号	窓番号	名前番号	窓番号	名前番号
1		11		21	
2		12		22	
3		13		23	
4		14		24	
5		15		25	
6		16		26	
7		17		27	
8		18		28	
9		19		29	
10		20		30	

設置場所					
機器名					
チャンネル番号					
窓番号	名前番号	窓番号	名前番号	窓番号	名前番号
1		11		21	
2		12		22	
3		13		23	
4		14		24	
5		15		25	
6		16		26	
7		17		27	
8		18		28	
9		19		29	
10		20		30	

設置場所					
機器名					
チャンネル番号					
窓番号	名前番号	窓番号	名前番号	窓番号	名前番号
1		11		21	
2		12		22	
3		13		23	
4		14		24	
5		15		25	
6		16		26	
7		17		27	
8		18		28	
9		19		29	
10		20		30	

設置場所					
機器名					
チャンネル番号					
窓番号	名前番号	窓番号	名前番号	窓番号	名前番号
1		11		21	
2		12		22	
3		13		23	
4		14		24	
5		15		25	
6		16		26	
7		17		27	
8		18		28	
9		19		29	
10		20		30	

設置場所					
機器名					
チャンネル番号					
窓番号	名前番号	窓番号	名前番号	窓番号	名前番号
1		11		21	
2		12		22	
3		13		23	
4		14		24	
5		15		25	
6		16		26	
7		17		27	
8		18		28	
9		19		29	
10		20		30	

設置場所					
機器名					
チャンネル番号					
窓番号	名前番号	窓番号	名前番号	窓番号	名前番号
1		11		21	
2		12		22	
3		13		23	
4		14		24	
5		15		25	
6		16		26	
7		17		27	
8		18		28	
9		19		29	
10		20		30	

設置場所					
機器名					
チャンネル番号					
窓番号	名前番号	窓番号	名前番号	窓番号	名前番号
1		11		21	
2		12		22	
3		13		23	
4		14		24	
5		15		25	
6		16		26	
7		17		27	
8		18		28	
9		19		29	
10		20		30	

オフィスサイン　配線設計・システム動作　チェックリスト

配線設計手順	システム動作手順	主要チェック項目
① 各機器の使用目的をチェックする。	① 各機器の取付方法・配線方法をチェックする。	＊総配線長 ＊指定CPEV線使用 ＊架空配線は不可 ＊電源線とN－MAST信号線との誤結線
↓	↓	
② 各機器の設置場所を決める。	② 各機器のAC100V電源を入れます。 (壁掛型表示盤・表示ユニット→電源ユニット(操作器用)→中継増幅器→伝送ユニット組込制御盤(Ｌ型))	＊電源線の短絡 ＊中継増幅器の必要有無
↓	↓	
③ 伝送ユニット組込制御盤(Ｌ型)から末端機器までの設置台数と配線距離をチェックする。	③ 伝送ユニット組込制御盤(Ｌ型)へプログラムを登録する。	＊チャンネル番号・窓番号・名前NOの登録 ＊既存登録データが有る時は０クリアー後登録する。
↓	↓	
④ 配線長により中継増幅器の必要の有無を決定する。	④ 伝送ユニット組込制御盤(Ｌ型)の伝送ユニット本体のエラー表示機能をチェックする。	＊短絡エラー ・N－MAST信号線の短絡 ＊伝送エラー ・N－MAST信号線への外部からのノイズ受信 ・同一チャンネル番号で設定された機器がある。
↓	↓	
⑤ 操作器(24窓)、表示器(24窓)、操作器(個別用)(24窓表示器付)、操作器(28窓)、表示器(28窓)、操作器(個別用)(28窓表示器付)と配線長により電源ユニット(操作器用)数を決定する。	⑤ 伝送ユニットにてのテストモード及び表示モードでのシステム動作をチェックする。	＊返送無しエラー ・チャンネル番号・窓番号・名前NOの未登録 ・各機器の電源未投入
↓	↓	
⑥ 関連商品必要の有無をチェックする。	⑥ 伝送ユニット組込制御盤(Ｌ型)内のタイムスイッチを合わせる。	＊動作プログラムの設定 ・ON－OFF時刻をセット
	↓	
	⑦ タイムスイッチによるシステム動作が正常かチェックする。	＊全システム動作の最終チェック

オフィスサイン　システム動作チェックリスト

異常動作現象	推定原因	処置要項
端末機器が点灯、消灯しない。	＊プログラムが登録されていない。	＊正しいプログラムを登録して実行する。
	＊誤ったプログラムを登録した。	＊正しいプログラムを登録して実行する。
	＊伝送ユニット及び端末に電源供給されていない。	＊伝送ユニット及び端末に電源供給する。 ＊誤配線等があるかチェックする。
	＊N-MAST信号電圧降下（16V以下）である。	＊総配線長等をチェックする。 ＊指定電線を使用しているかチェックする。 ＊100V供給電源をチェックする。
	＊システム内に正しく中継増幅器などが設置されていない。	＊各端末の消費電流を計算し適正な場所に中継増幅器を設置する。
	＊端末の故障 （ディップSW不良） （端末　半田不良）	＊端末を交換して実行する。
	＊端末のチャンネル番号が正しく設定されていない。	＊端末のチャンネル番号を正しく設定して実行する。
伝送ユニットの短絡表示（赤LED）が点滅する。	＊N-MAST信号配線が短絡している。	＊N-MAST信号配線上短絡箇所を修正して実行する。
伝送ユニットの指定する表示モードで動作しない。	＊伝送ユニットの指定する表示モードが適正でない。	＊伝送ユニットの信号SWを一旦（切）にして再度（入）にし実行する。
伝送ユニットのエラー表示が０CHを表示する。	＊N-MAST信号配線が短絡復帰時に信号返信エラーが発生する為。	＊N-MAST信号線上短絡箇所を修正して実行する。
端末子器が定期的に点滅する。	＊伝送ユニット登録データが復数に設定されている。 例えば CH　窓　名前No 1　1　1 1　2　2 1　3　3 ⋮　⋮　⋮ ⋮　⋮　⋮ 1 2 4　2 4 の設定時	＊伝送ユニット登録データは窓データ１のみを設定して実行する。
	＊端末の故障 （ディップSW接触不良） （端末　半田不良）	＊端末を交換して実行する。

故障と思われる前に

※正常に動作しない場合、下記の要領にしたがってチェックしてください。

現　象	処　置　要　領
(1) 窓表示しない。	A伝送ユニット組込制御盤(L型)、壁掛型表示盤、電源ユニット（操作器用）の各電源を確認してください。 B信号線の配線が正しく接続されているかを確認してください。 C伝送ユニット組込制御盤(L型)内蔵のタイマーが「OFF」になっていないかを確認してください。
(2) 短絡表示が出る。	A信号線の配線、各機器の接続端子部をチェックして、短絡している箇所を改めてください。
(3) 返信エラー、伝送エラーが出る。	A壁掛型表示盤、表示器、操作器のチャンネル設定番号が、まちがっていないかを確認してください。 (伝送ユニットによってどのチャンネルがまちがっているかを調べることができます。詳細はP18の"エラー表示機能"をご参照ください。)
(4) 伝送ユニットの数字表示が［000 00 000］でフラッシングしている。	A伝送ユニットに設定されたプログラムが消えています。再度プログラムを入力してください。 Bプログラムは48時間充電で約１ヶ月間（約800時間）保持されます。 C停電などで左記の表示が出る場合、バッテリーのコネクタの接続状態を調べてください。
(5) 「テストモード」で表示しない。	A各機器のチャンネル番号が正しくセットされているかを確認してください。 B伝送ユニットのプログラムが正しく入力されているかを確認してください。
(6) 信号表示の緑LEDが点灯しない。	A AC100V入力電源の確認をしてください。 B動作モードスイッチが「動作」になっているか確認してください。
(7) ４モード表示器が２モードで表示する。	A壁掛型表示盤が４モード用であるか及び伝送ユニットのモード設定が「４モード」になっているかを確認してください。 B表示モード選択スイッチを正しくした後は（「４モード」になっていても）信号スイッチを「呼出」にして、再度「出退」にしてください。
(8) 操作器（個別用）、表示器（個別用）、埋込型表示ランプ（スイッチ付）、埋込型表示ランプ（スイッチなし）の表示が変わる。	A操作器（個別用）、表示器（個別用）、埋込型表示ランプ（スイッチ付）、埋込型表示ランプ（スイッチなし）のチャンネル番号に「窓番号１」以外のプログラムが設定されていないかを確認してください。もし設定されていれば削除してください。

アフターサービス

●保証期間は１年間です。

本商品の保証期間はお買上げの日（ご使用開始）から１年間となっています。

●保証期間中の修理

チェックリストに従って調べていただき、なお、異常のあるときは伝送ユニット組込制御盤（Ｌ型）の電源スイッチを切り、全ての表示盤内の電源スイッチを「切」にしてからお買上げの販売店または電気工事業者にご連絡下さい。

連絡していただきたい内容：

●製品名、品番、お買上げ日

●異常の状況（できるだけくわしく）

●ご住所、ご氏名、電話番号

●訪問ご希望日

●保証期間が過ぎているときの修理

お買上げの販売店または電気工事業者へご依頼ください。

修理すれば使用できる部品については、ご希望により有料で修理致します。

●定期的な点検（１年に１度）

この商品をより永く安全にお使い頂くためには定期的なメンテナンス（保守点検）が必要です。

次ページの「メンテナンス」の項目について、販売店または電気工事業者にご相談ください。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、納入後７年です。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

(2) 定期メンテナンス（１年に１度）の内容

対象機種		項　目	メンテナンス内容	使用部品
表示器（個別用） 表示ランプ（スイッチなし） 表示器（24窓） 表示器（28窓）		LEDの点灯状態の確認	LEDを点灯させその光度（輝度）、視認性をみる	輝度計、目視
		返信電流の確認	返信電流のパルス電流を測定する（500±200mA）	変換抵抗、 シンクロスコープ
操作器（個別用） 表示ランプ（スイッチ付） 操作器（24窓） 操作器（28窓） 卓上型操作器（個別用） （24窓表示器付） 卓上型操作器（個別用） （28窓表示器付）		LEDの点灯状態の確認	LEDを点灯させその光度（輝度）、視認性をみる	
		返信電流の確認	返信電流のパルス電流を測定する（500±200mA）	
		スイッチの操作入力の確認	通常動作状態で数回の操作を繰り返したとき不動作、誤動作が顕著に発生しないことを確認する	
壁掛型表示盤	◎	表示素子の光度（輝度）の確認	LEDを点灯させその光度（輝度）、視認性をみる LED素子内の列毎の輝度差が顕著に見られない事	輝度計、目視
	◎	DC電源の出力電圧の測定	出力電圧 ・2モード：DC24±0.1V ・4モード：DC22.7±0.1V 無負荷時と全負荷時の出力電圧差が0.5V以内 リップル0.5V以下	DC電圧計
		ドライブ基板のON電圧の測定	各表示素子をドライブするトランジスタのON電圧は0.8V以下であること	DC電圧計
電源ユニット（操作器用）		二次側出力の測定	出力電流2A時の出力電圧AC9～13V	AC電圧計
伝送ユニット 組込制御盤（L型）	◎	バッテリー電圧の測定	放電中（電源OFF時）の電池電圧が3.0V以上	DC電圧計 ドライバー
		タイマー動作	タイマーの『入・自動・切』スイッチで動作確認	
		ノイズフィルター サージキラー		
		NMAST信号出力電圧の測定	最大負荷（500mA）の信号電流出力時 出力信号電圧が±20V以上	最大負荷疑似抵抗 シンクロスコープ
中継増幅器		NMAST信号出力電圧の測定	最大負荷（500mA）の信号電流出力時 出力信号電圧が±20V以上	最大負荷疑似抵抗 シンクロスコープ
		返信電流の確認	返信電流のパルス電流を測定する（500±200mA）	変換抵抗 シンクロスコープ
全商品共通		ビスのゆるみの確認	端子ビス、その他取付ビス等の増し締めを行う	ドライバー他
		通常の動作確認		

対象機種		項　目	メンテナンス内容	使用部品
埋込型廊下灯 （個別用復旧釦付） （呼出表示用）		LEDの点灯状態の確認	LEDを点灯させその光度（輝度）、視認性をみる	輝度計、目視
		返信電流の確認	返信電流のパルス電流を測定する（500±200mA）	変換抵抗、 シンクロスコープ
		機能動作の確認	通常動作状態でP45の操作手順表に従って、一連の動作確認を数回おこなう	
埋込プルスイッチ付釦スイッチ		機能動作の確認	通常動作状態でP45の操作手順表に従って、一連の動作確認を数回おこなう	
		パイロットランプの点灯状態の確認	ランプを点灯させ視認性をみる	目視
机下警報釦セット 壁付け警報押釦セット		機能動作の確認	通常動作状態でP45の操作手順表に従って、一連の動作確認を数回おこなう	
壁掛型表示盤 （呼出表示用） EIAラック型表示盤 （呼出表示用）	◎	表示素子の光度（輝度）の確認	LEDを点灯させその光度（輝度）、視認性をみる LED素子内の列毎の輝度差が顕著に見られない事	輝度計、目視
	◎	DC電源の出力電圧の測定	出力電圧 ・壁掛型表示盤 ：DC22.7±0.1V ・EIAラック型表示盤 ：DC24±0.1V 無負荷時と全負荷時の出力電圧差が0.5V以内 リップル0.5V以下	DC電圧計
		ドライブ基板のON電圧の測定	各表示素子をドライブするトランジスタのON電圧は0.8V以下であること	DC電圧計
		機能動作の確認	通常動作状態でP48操作手順表に従って、一連の動作確認を数回おこなう 遠隔ブザー停止釦を使用している場合は、その釦でも動作を確認する	DC電圧計

付録（重要）　屋外での信号伝送（光伝送）について

屋外において、電線による信号配線は行わないでください。雷サージの影響により回路基板が故障するおそれがあります。
屋外での信号伝送には光変換器をお使いください。次のどちらかの組み合わせにてお使い願います。

- BNA57001（送信機）とBNA57002（受信機）　…①
- BNA57005（送信機）とBNA57006（受信機）　…②

送信機と受信機間の配線距離は次の通りです。

- ①の場合、最大1km
- ②の場合、最大3km

①②どちらの場合も、1台の送信機に受信機を最大10台まで接続できるため、そうした場合、配線を次の距離まで延長可能です。

- ①の場合、最大10km
- ②の場合、最大30km

送信機入力への電線の接続の際は、電線のシールド線を必ず送信機のシールド端子に接続してください（送信機内部で"シールド"端子と"アース"端子はつながっていませんので信号系統において２点アースとなる心配はありません）。
さらに、受信機出力への電線の接続の際、電線のシールド線を必ず受信機の"シールド"端子に接続してください。また"アース"端子をアース接続し、受信機以降の電線系統を受信機側の１点アースとしてください（受信機内部で"シールド"端子と"アース"端子はつながっています）。

これらの光変換器の施工・取扱においては必ず、光変換器に付属の取扱説明書に従って行ってください。また"MECS用端末器　技術マニュアル'97.3月版"P51,52のご参照をお薦め致します。

御注意

（1） 本取扱説明書の内容の一部又は全部を、無断転載・無断複写することは禁止されています。

（2） 本取扱説明書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

（3） 製品の内容についは、万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがお気付きの点がございましたら、ご連絡ください。

（4） 運用した結果の影響については、本取扱説明書の内容にかかわらず、責任を負いかねますのでご了承ください。

アフターサービス（よくお読みください）

■修理・お取扱い・お手入れなどのご相談について
修理・お取扱い・お手入れなどのご相談は、施工された工事店にご連絡ください。

■補修用性能部品の保有期間
当社は、この伝送ユニット組込制御盤（Ｌ型）の補修用性能部品を納入後、７年まで対応しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼される時
施工された工事店にご連絡ください。

■ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
松下電工株式会社および松下電工グループ関係会社（以下、「当社」）はお客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下、「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社はお客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

便利メモ おぼえのため、記入されると便利です。	納入日	年　月　日	品番	
	工事店名	電話（　　）　— FAX（　　）　—		
	販売店名	電話（　　）　— FAX（　　）　—		

松下電工株式会社　ビル・システムソリューション事業推進部
〒571-8686　大阪府門真市大字門真1048　TEL（06）6908-1131（大代表）

EDN71301-032 V06

1205-1 KD MEW